TDC

東京歯科大学同窓会会報

1980年12月 第198号

東京歯科大学同窓会会報　第198号

目　次

巻頭言……1

お知らせ……2

昭和55年度　東京歯科大学同窓会

評議員会・総会報告……3～25

本部短信……26～27

第9回全国ゴルフ大会……28～30

母校だより……31～32

母校・衛生士専門学校入試案内……33～35

北から南から……36～37

明日の臨床に……38

支部のうごき……39～41

クラス会だより……42～55

すいどうばし……56

へんしゅうこうき……57

（表紙・カット　菊池　豊）

巻頭言

1980年をふりかえって

会長　河邊清治

今年は同窓各位と共に大いなる希望と期待をもって迎えた80年でございました。これをふりかえって見ますと，先づ日本歯科医師政治連盟の統一候補として参議院全国区より関口恵造氏が立候補され，次いで千葉地方区より井上裕氏，そして大平内閣の解散により大阪地方区より浅井美幸氏の3先生が立候補されるにあたり，多年にわたり選挙対策に実績をもたれる斉藤静三氏が段階的に後援会を設立されました事に対して同窓会各位におかれましては心おしみなき御協力をいただき又3先生のお人がらにより，各歯科大学同窓会，薬剤師会，技工士会，衛生士会，ならびに歯科関係の業界の皆様方からの御支援をたまわり，歯科界の皆様の予想することの出来なかった最高得票により当選されましたことは誠に喜ばしい次第でございます。

これもひとえに同窓会各位の心あたたまる和の精神によるもので，今後ともどうかこの心がまえをもって母校ならびに同窓会の発展に寄与されんことを望む次第でございます。

お知らせ

新年交歓会御案内

——開催日変更に御注意を——

恒例の新年交歓会は，**5日の午後1時**から行います。ご家族のみなさまとゆっくり新春を迎えられた後，母校にご参集戴きたいと存じます。そして，恩師，長老を囲んで平素はなかなかお会いできない旧知，旧友と共に新年を寿いで下さい。特に，今回は懐しの学び舎「すいどうばし」における最後の新年会になろうかと思いますので，多数の会員各位のご来会をお待ち致しております。

日　時　**昭和56年1月5日（月）午後1時**

場　所　**東京歯科大学（水道橋）中央ホール**

東京歯科大学学長　松宮　誠一

東京歯科大学同窓会会長　河邊　清治

○ TDC卒後研修セミナー'81日程

〔主題〕 生体と修復の調和を求めて

と　き　第1回　昭和56年1月24日(土)，第2回　同2月21日(土)，第3回　同3月28日(土)，第4回　同4月18日(土)，第5回　同5月23日(土)，第6回　同6月20日(土)，第7回　同7月11日(土)

それぞれ午前9時30分より午後4時30分まで

ところ　経団連会館14階経団連ホール（地下鉄丸の内線・千代田線・東西線大手町駅，国電東京駅下車）

応募期限　昭和56年1月15日（木）

○ 昭和56年度東京歯科大学入学試験

期　日　(1) 学科試験・小論文試験・適性試験：2月1日(日)，2日(月)

(2) 面接試験・健康診断：2月3日(火)，4日(水)，5日(木)のうち大学の指定するいずれか1日の午前または午後

試験場　東京歯科大学進学課程

発　表　昭和56年2月10日（火）午後4時

入試要項，大学要覧，願書一式は母校専門課程教務課まで1,000円（送料を含む）を添えてお申し込み下さい。なお，詳細は本号33頁をご覧下さい。

○ 昭和56年度東京歯科大学歯科衛生士専門学校入学試験

期　日　昭和56年2月26日(木)，27日(金)

合格者発表　昭和56年2月28日(土)　午後3時

入学試験要項ならびに願書一式は母校歯科衛生士専門学校教員室まで**560円**（送料を含む）を添えてお申し込み下さい。なお，詳細は本号35頁をご覧下さい。

○ 第212回東京歯科大学学会例会

と　き　昭和56年3月7日(土)

ところ　東京歯科大学

昭和55年度評議員会・総会報告

昭和55年度評議員会

昭和55年11月22日（土）午前9時10分より東京都港区の白金プリンス迎賓館において昭和55年度評議員会が開催された。

福本総務担当理事の司会により伊丹副会長が開会。点呼は受付の署名をもってこれに代えることを了承した。評議員総数247名，出席評議員155名。

会長挨拶

河邊同窓会長が挨拶を行った。

役員紹介

司会による役員紹介が行われた。

来賓挨拶

司会による来賓紹介のあと，鹿島理事長，松宮学長が，それぞれ現状の世相と，医療・医政の関連性，母校の現況，千葉校舎の建設進行状態ならびに建築日程等，また，千葉校舎竣工後の水道橋校舎についての近い将来構想を含めて詳細且つ適切な挨拶をされた。次いで関口恵造議員がお礼の意味を含めた挨拶と浅井美幸議員ならびに井上裕議員ともども頑張る旨の今後の抱負を語られ議員の職務に専念する為常任理事を辞退したき旨を述べられた。

議長・副議長の選出

議長に平佐武郎氏，副議長に佐藤貞勝氏を選出した。

議事録署名人の選出

議長一任となり，三輪久夫評議員と森滋評議員が指名され，選出した。

報　告

会務報告並びに会計現況報告は，報告書に基づき津島総務担当理事および菊池会計担当理事が行ない，物故会員に対して全員黙祷を捧げた。

議　事

第1号議案　昭和54年度東京歯科大学同窓会経常部収支決算に関する件

第2号議案　昭和54年度東京歯科大学同窓会特別会計収支決算に関する件（同窓会基金，血脇記念基金，共済基金，名簿積立金，退職積立金，同窓会創立80周年記念募金事業）

第3号議案　昭和54年度東京歯科大学同窓会財産目録の承認に関する件

を一括上程，菊池，関口の2会計担当理事より提案の説明があり，滝監事から適正に処理されて

いる旨の監査報告後，原案通り承認され，可決確定した。

第４号議案　財産処分（備品廃棄，債券償還）の承認に関する件

菊池会計担当理事よりその理由が説明され，異議なく可決した。

第５号議案　昭和56年度　東京歯科大学同窓会事業計画に関する件

第６号議案　昭和56年度　大学助成金の一部および割引電信電話債券償還金の同窓会基金への繰入に関する件

第７号議案　昭和56年度　同窓会基金の一部とり崩しに関する件

第８号議案　昭和56年度　東京歯科大学同窓会入会金および会費に関する件

第９号議案　昭和56年度　東京歯科大学同窓会経常部収支予算に関する件

が一括上程され，福本総務担当理事，津島総務担当理事，菊池会計担当理事が提案理由の説明を行い，異議なく可決確定した。

第10号議案　昭和56年度　東京歯科大学同窓会共済負担金に関する件

第11号議案　東京歯科大学同窓会共済規程の一部改正に関する件

第12号議案　昭和56年度　東京歯科大学同窓会特別会計収支予算に関する件（同窓会基金，血脇記念基金，共済基金，名簿積立金，退職積立金，同窓会創立80周年記念募金事業）

が一括上程され，杉山共済担当理事，関口会計担当理事が説明，これを異議なく可決確定した。

以上午前の議事を無事終了した。13時10分よりの再開に先立ち山本義茂東京歯科大学名誉教授が学術会議に関連した挨拶があった。

第13号議案　名誉会員の推薦に関する件

中久喜総務担当理事より推薦理由の説明があり，河邊会長が竹内光春東京歯科大学名誉教授を推薦，全員一致でこれを可決した。

第14号議案　昭和55年度　叙勲，褒章受章者顕彰に関する件

中久喜総務担当理事より13名の受章者について提案，後刻開催の第86回総会において顕彰式を挙行する旨決定した。

第15号議案　役員の補充に関する件

福本総務担当理事より，高木健吉副会長の逝去に伴う副会長の欠員の補充と関口恵造渉外担当理事の辞任に伴う後任の取扱いについて提案，議長之を諮り会長一任となる。会長より正岡健夫氏を副会長に推挙。なお渉外担当理事については後日発表する旨の発言あり議長之を諮り満場一致可決確定した。

平議長挨拶の後阿部副会長の閉会の辞により全日程を午後２時無事終了した。

関口恵造，浅井美幸，井上裕後援会総会

評議員会に引続き東京歯科大学同窓会後援会総会が浅井美幸後援会の三宅直晴幹事長により開会した。挨拶は河邊同窓会長，３後援会の斉藤静三会長，鹿島理事長，松宮学長が行ない，続いて浅井美幸氏が三議員を代表して謝辞並びに国会活動，抱負について述べられた。次いで，斉藤会長

東京歯科大学同窓会新役員紹介

副会長

正岡健夫（新任）

昭和15年卒

昭和55年11月22日付

座長となり，井上裕後援会の熱田俊之助幹事長が3後援会の会務並びに会計現況報告を行ない，また，協議は，関口恵造後援会の山崎文男幹事長が関口，浅井，井上3後援会の昭和54年度収支決算について提案した。1，2の協力的質問の後，全てを承認した。

閉会は，安嶋副会長が行ない，三議その健闘を願って謝辞を述べ無事終了した。

第85回同窓会定時総会

嶋中総務担当理事の司会により板垣副会長が開会。河邊同窓会長が挨拶し，来賓の紹介後，鹿島理事長，松宮学長，一戸父兄会長が挨拶された。議長に佐藤貞勝，副議長に平佐武郎両氏を，そして，議事録署名人には愛知正晴，矢内良徳の両氏をそれぞれ選出した。会務報告，評議員会報告の後，昭和56年度の収支予算報告が終り議事に移る。第1号議案から第3号議案まで一括上程，滝監事の監査報告後可決確定。第4号議案，第5号議案も異議なく可決して報告，議事ともに無事終了。

会場整理の後，叙勲，褒章受章者顕彰式をめでたく開式。河邊会長より顕彰状と記念品の贈呈が出席者一人一人について行われた。受章者を代表して菅田晴山氏が万感胸をえぐる謝辞を述べられ会場割れんばかりの拍手がおこり，安嶋副会長の閉会のことばによって全日程を終了した。

同窓会懇親会・関口，浅井，井上議員祝賀会

定刻の午後6時より恒例の懇親パーティが津島総務担当理事の開会の辞のもと華々しく開宴された。河邊同窓会長，鹿島理事長，松宮学長，浅井美幸議員，井上裕議員，関口恵造議員夫人から挨拶があり，松井隆弘東歯大名誉教授の音頭によって乾盃。和やかに落ちついたムードが次第に盛り上り，大家族的聚落の楽しい談笑が続き，午後7時15分板垣副会長の閉会の辞により祝宴を閉じた。

東京歯科大学同窓会評議員会

昭和55年11月22日（土）午前9時～午後2時

1. 開会の辞
1. 点呼
1. 会長挨拶
1. 来賓挨拶
1. 議長，副議長選出
1. 議事録署名人選出
1. 報告
   (1) 昭和55年度　会務報告
   (2) 昭和55年度　会計現状報告
1. 議事
   第1号議案　昭和54年度　東京歯科大学同窓会経常部収支決算に関する件
   第2号議案　昭和54年度　東京歯科大学同窓会特別会計収支決算に関する件（同窓会基金，血脇記念基金，共済基金，名簿積立金，退職積立金，同窓会創立80周年記念募金事業）
   第3号議案　昭和54年度　東京歯科大学同窓会財産目録の承認に関する件
   （監事報告）
   第4号議案　財産処分（備品廃棄，債券償還）の承認に関する件
   第5号議案　昭和56年度　東京歯科大学同窓会事業計画に関する件
   第6号議案　昭和56年度　大学助成金の一部および割引電信電話債券償還金の同窓会基金への繰入に関する件
   第7号議案　昭和56年度　同窓会基金の一部とり崩しに関する件
   第8号議案　昭和56年度　東京歯科大学同窓会入会金および会費に関する件
   第9号議案　昭和56年度　東京歯科大学同窓会経常部収支予算に関する件
   第10号議案　昭和56年度　東京歯科大学同窓会共済負担金に関する件
   第11号議案　東京歯科大学同窓会共済規程の一部改正に関する件
   第12号議案　昭和56年度　東京歯科大学同窓会特別会計収支予算に関する件（同窓会基金，血脇記念基金，共済基金，名簿積立金，退職積立金，同窓会創立80周年記念募金事業）
   第13号議案　名誉会員の推薦に関する件
   第14号議案　昭和55年度　叙勲，褒章受章者顕彰に関する件
   第15号議案　役員の補充に関する件
1. 閉会の辞

第86回東京歯科大学同窓会定時総会

昭和55年11月22日（土）午後3時30分～午後5時30分

1. 開会の辞
1. 会長挨拶
1. 来賓挨拶
1. 議長，副議長選出
1. 議事録署名人選出
1. 報告
   (1) 昭和55年度　会務報告
   (2) 昭和55年度　評議員会報告

(3) 昭和56年度　東京歯科大学同窓会経常部並びに特別会計収支予算に関する件

1. 議　　事

第1号議案　昭和54年度　東京歯科大学同窓会経常部収支決算に関する件

第2号議案　昭和54年度　東京歯科大学同窓会特別会計収支決算に関する件（同窓会基金，血脇記念基金，共済基金，名簿積立金，退職積立金，同窓会創立80周年記念募金事業）

第3号議案　昭和54年度　東京歯科大学同窓会財産目録の承認に関する件

（監　事　報　告）

第4号議案　財産処分（備品廃棄，債券償還）の承認に関する件

第5号議案　東京歯科大学同窓会共済規程の一部改正に関する件

1. 叙勲，褒章受章者顕彰式

1. 閉　会　の　辞

昭和55年度東京歯科大学同窓会会務報告

自 昭和54年10月1日～至 昭和55年9月30日

1. 現在会員数　8,297名

内　名誉会員　33名

高齢会員　724名

2. 会員の移動

新入会員　163名

本年度卒業生 163名

逝去会員　138名

退会会員　7名

3. 会　　議

総　会	1回
評議員会	1回
地域支部連合会長会	1回
同窓会創立80周年記念募金実行委員会	1回
役員会	12回

4. 役員出張　89回

5. 支部数　112支部

6. 地域支部連合会数　11支部連合会

北海道地域，東北地域，関東地域，東京地域，信越地域，東海地域，北陸地域，近畿地域，中国地域，四国地域，九州地域（含沖縄）

7. 会務報告

昭和54年

10月3日　名簿編集委員会

3日　会報第190号発送

10月4日　卒後研修特別委員会（企画小委員会）

6日　会計監査

6日　理事会

6日　顧問懇談会　井上会長他役員出席

7日　山形県支部総会　井上会長出張

13日　東海地域支部連合会総会　井上会長，杉山，朝波理事出張

15日　広報部委員会（会報編集）

15日　卒後研修特別委員会（企画）

20日　九州地域支部連合会総会　井上会長，佐々木，野上理事出張

23日　卒後研修特別委員会（合同）

25日　第8回ゴルフ大会　板垣副会長出張

26日　地域支部連合会長会

26日　常任理事会

27日　全国歯科大学同窓，校友懇話会　井上会長，清藤副会長，村越，熱田理事出張

27日　卒後研修セミナー（最終日）閉講　井上会長，河邊副会長他役員出席

11月9日　卒後研修特別委員会（合同）

10日　会報第191号発送

13日　渋谷支部募金説明会　福本，佐々木理事出張

11月13日　大森支部募金説明会　河邊副会長出張
15日　広報部委員会（会報編集）
16日　理事会
17日　昭和54年度評議員会，第85回定時総会開催
○昭和54年度諸報告　昭和55年度諸議案
何れも原案通り可決成立。
○役員改選により副会長河邊清治氏新会長に選任される。
○会長井上眞氏名誉会長に推戴される。
○叙勲，褒章受章者顕彰者(敬称略)
佐藤 直房，吉田 次郎，赤祖父 三郎，杉本典，提　安，鈴木貞一，荒川清吉，黒田正智，谷口晴雄，五十嵐嘉秋，堀英一郎，長内良夫，近藤昭，五十嵐堯昭，高橋文平
21日　東遊会懇談会　井上会長出張
23日　近畿地域支部連合会総会　井上会長，白川，林理事出張
24日　神奈川歯科大学同窓会創立10周年記念式典　安嶋副会長列席
25日　栃木県支部総会　安嶋副会長出張

12月1日　法歯学教室創立15周年記念式典　井上会長列席
2日　東京地域支部連合会総会　井上会長出張
4日　卒後研修特別委員会（合同）
7日　丸の内支部総会　井上会長出張
7日　京橋支部総会　河邊副会長出張
8日　大森支部総会
8日　理事会
8日　大学教授団との懇談会　井上会長他役員出席
9日　千葉県支部総会　安嶋副会長，杉山理事出張
9日　神奈川県連合会同窓会総会　井上会長，今村理事出張
9日　山梨県支部総会　中野理事出張
9日　顧問　故村瀬正雄氏葬儀　河邊副会長参列
12月10日　父兄会懇談会　井上会長出張
11日　豊島支部総会　中久喜理事出張
13日　広報部委員会（会報編集）
13日　卒後研修特別委員会（企画小委員会）
14日　日本橋支部総会　井上会長，河邊副会長出張
15日　浅草支部総会　井上会長出張
20日　大学支部総会　井上会長，福本理事出張
21日　会報第192号発送
24日　共済部委員会
29日　元四谷支部長　故松平康氏葬儀　安嶋副会長参列

昭和55年
1月1日　前会長井上眞氏名誉会長となる。
1日　新役員次のとおり就任（敬称略）
会　　長　河邊清治
副 会 長　高木健吉（2月1日逝去），伊丹一男，板垣正太郎，安嶋宣忠，阿部鋭夫（3月21日付）
常任理事　関口敏彦(会計)，福本忍（総務），関口 恵造（渉外），中久喜喬（総務），熱田 俊之助（渉外），杉山邦夫(共済)，天野恵(渉外)，佐々木達夫(学術)，津島秀雄（総務），中村泰之（広報），菊池豊（会計），浜野伸彦(学術)，溝上隆男（広報），福島 直(共済)
理　　事　松川健二（北海道，広報），嶋中豊彦(東北，総務)，荒井栄(関東，渉外)，海老原 信（東京，渉外），伊藤哲(東海，広報)，清水潮(信越，学術)，白崎 源有

（北陸，広報），林幹雄（近畿，広報），森戸弥助(中国，共済)，馬嶋博(四国，広報)，野上順平(九州，広報）

監　　事　滝義胤，高木圭二郎

1月1日　新年交歓会
9日　世田谷支部懇談会　井上名誉会長出張
11日　千代田，麹町支部合同懇談会　河邊会長，井上名誉会長出張
11日　卒後研修セミナー講師打合会
12日　浅草，下谷支部合同懇談会　河邊会長，井上名誉会長出張
13日　副会長　高木健吉氏病気見舞　河邊会長出張
15日　東京医科歯科大学同窓会新年名刺交換会　河邊会長出張
18日　芝支部総会　河邊会長，井上名誉会長出張
18日　卒後研修特別委員会（庶務小委員会）
19日　理事会
23日　東歯関係日歯役員，代議員，都道府県歯科医師会長懇談会　河邊会長他役員出席
25日　北多摩支部総会　伊丹副会長，福本理事出張
26日　神奈川県連合会同窓会懇談会　安嶋副会長，関口(敏)理事出張
26日　愛知県連合会臨時総会　河邊会長出張
26日　京北歯科懇談会　井上名誉会長出張
26日　東京支部連合会城北地区総会　中久喜，津島理事出張
27日　茨城県支部総会　伊丹副会長出張
29日　役員打合会（会長，副会長，総務担当理事）
30日　品川支部総会　河邊会長出張

2月1日　副会長　高木健吉氏逝去（午後5時17分）
1日　役員打合会（共済担当理事）
2月7日　副会長　故高木健吉氏葬儀　河邊会長，井上名誉会長，森戸理事参列
8日　学術部委員会（進学指導セミナー担当）
8日　役員打合会（渉外担当理事）
9日　大阪歯科大学同窓会奥野会長他役員来訪
12日　卒後研修特別委員会（合同）
14日　広報部委員会（会報編集）
14日　在京3歯科大学同窓，校友会訪問　河邊会長，伊丹，安嶋副会長　福本，熱田，天野理事出張
15日　学術部委員会
16日　卒後研修セミナー（第1回）開講　河邊会長出席
19日　常任理事会
21日　役員打合会(会長，副会長，総務，渉外担当理事)
26日　卒後研修特別委員会（会計小委員会）

3月1日　山形県支部総会　板垣副会長，熱田理事出張
2日　三重県支部総会　安嶋副会長　天野理事出張
11日　東歯関係日歯役員・代議員・都道府県歯科医師会長懇談会　河邊会長他役員出席
14日　新入会員オリエンテイション　福本，中久喜，津島，溝上理事出席
15日　卒後研修セミナー（第2回）
15日　東京歯科大学（第85回生）卒業証書授与式　河邊会長，伊丹副会長，他役員列席
17日　共済部委員会
18日　広報部委員会（会報編集）
21日　大分県支部総会　安嶋副会長，福島，野上理事出張
21日　理事会
21日　副会長に阿部鋭夫氏就任
22日　同窓会創立80周年記念募金実行委

員会
3月25日　歯科衛生士専門学校卒業式　河邊会長列席
25日　会報第193号発送
27日　学術部委員会（進学指導セミナー担当）
4月5日　東京歯科大学入学式　河邊会長列席
9日　井上眞先生に感謝する会　河邊会長他役員列席
12日　広島県支部総会　河邊会長出張
15日　常任理事会
19日　卒後研修セミナー（第3回）
19日　全国歯科大学同窓，校友懇話会　河邊会長，井上名誉会長，伊丹副会長熱田，天野，佐々木理事出張
21日　広報部委員会（会報編集）
22日　東京地域支部連合会支部長会　河邊会長出張
5月8日　役員打合会(会長，副会長，総務，渉外担当理事)
11日　同窓会主催学術講演会　河邊会長他役員出席
14日　広報部委員会（会報編集）
14日　役員打合会（総務担当理事）
15日　卒後研修特別委員会（合同）
16日　東京支部連合会城西地区懇談会　阿部副会長，福本理事出張
17日　卒後研修セミナー（第4回）
17日　静岡県支部総会　阿部副会長，福本理事出張
17日　愛知県連合会総会　安嶋副会長，滝監事出張
17日　宮城県支部総会　熱田理事出張
24日　長野県連合会総会　伊丹副会長出張
24日　理事会
25日　中国地域支部連合会総会　河邊会長，安嶋副会長，森戸理事出張
27日　学術部委員会（進学指導セミナー担当）
28日　東歯関係日歯役員，代議員，都道府県歯科医師会長懇談会　河邊会長他役員出席
5月29日　京橋支部懇談会　伊丹副会長出張
29日　神奈川県各歯科大学同窓，校友懇話会　安嶋副会長出張
31日　北海道地域支部連合会総会　板垣副会長，関口(敏)，松川理事出張
31日　中原実先生米寿祝賀会　河邊会長列席
31日　渋谷支部懇談会　伊丹副会長出張
31日　茨城県支部臨時総会　荒井理事出張
31日　父兄会総会　河邊会長出張
6月7日　信越地域支部連合会総会　井上名誉会長，津島，清水理事出張
10日　卒後研修特別委員会（企画）
11日　麻布，赤坂支部合同懇談会　阿部副会長，福本理事出張
11日　広報部委員会（会報編集）
13日　会報第194号発送
14日　卒後研修セミナー（第5回）
14日　東北地域支部連合会総会　河邊会長，板垣副会長，嶋中理事出張
14日　千葉県各歯科大学同窓，校友懇話会　阿部副会長，杉山理事出張
14日　福岡県支部総会　伊丹副会長出張
17日　常任理事会
19日　法人理事　故田中久兵衛氏葬儀　河邊会長参列
21日　福島県支部総会　安嶋副会長出張
26日　卒後研修特別委員会（企画）
26日　役員打合会（共済担当理事）
28日　秋田県支部総会　伊丹副会長，浜野理事出張
30日　故上田喜一氏葬儀　河邊会長参列
7月3日　在京3歯科大学同窓・校友会訪問　河邊会長，伊丹，安嶋副会長，熱田理事出張
5日　東京都歯科医師会会長　故佐藤精氏葬儀　河邊会長参列
8日　法人役員，教授懇談会　河邊会長出席

7月12日　卒後研修セミナー（第6回）
15日　エストルント教授歓迎レセプション　河邊会長，井上名誉会長他役員出席
16日　広報部委員会（会報編集）
16日　役員打合会（共済担当理事）
17日　卒後研修特別委員会（企画）
17日　役員打合会(総務，会計担当理事)
19日　福島県支部長　故入江正澄氏葬儀　安嶋副会長参列
21日　役員打合会（会長，副会長，総務担当理事）
23日　四谷支部総会　安嶋副会長出張
24日　卒後研修特別委員会（企画小委員会）
26日　第8回進学指導セミナー（Aクラス）開講　河邊会長他役員出席
26日　理事会

8月1日　Aクラス激励パーティー　河邊会長他役員出席
2日　第8回進学指導セミナー（Bクラス）開講
3日　第8回進学指導セミナー（Bクラス）閉講
7日　卒後研修特別委員会（企画）
9日　会報第195号発送
10日　第8回進学指導セミナー（Aクラス）閉講
11日　卒後研修特別委員会（企画小委員会）
13日　卒後研修特別委員会（企画）
16日　卒後研修特別委員会（企画小委員会）
18日　役員打合会(会長，副会長，総務，渉外担当理事)
19日　卒後研修特別委員会（企画）
22日　東京地域支部連合会支部長会　阿部副会長出張
23日　千葉県支部臨時総会　安嶋副会長出張
26日　役員打合会（共済担当理事）
27日　広報部委員会（会報編集）
28日　学術部委員会（進学指導セミナー担当）

9月2日　役員打合会(会長，副会長，総務，学術担当理事)
4日　卒後研修特別委員会（企画）
5日　学術部委員会（進学指導セミナー担当）
8日　共済部委員会
10日　卒後研修特別委員会（企画）
11日　芝支部懇談会　河邊会長出張
16日　役員打合会(総務，会計担当理事)
17日　広報部委員会（会報編集）
17日　卒後研修特別委員会（企画小委員会）
18日　千葉校舎上棟式，祝賀会　河邊会長他役員列席
18日　東歯関係日歯役員，代議員，都道府県歯科医師会長懇談会　河邊会長他役員出席
20日　理事会
23日　横浜北部支部懇談会　伊丹副会長，中村理事出張
25日　卒後研修特別委員会（合同）
27日　卒後研修セミナー（最終日）閉講　河邊会長他役員出席
27日　卒後研修特別委員会（合同）
27日　東海地域支部連合会総会　井上名誉会長，阿部副会長，滝監事，伊藤理事出張
27日　八紫会創立20周年記念祝賀会　河邊会長列席
29日　大学幹部との懇談会　河邊会長他役員出席
30日　卒後研修特別委員会（広報小委員会）

逝　去　会　員

○昭和54年10月1日より昭和55年9月30日までに逝去された会員は次の通りです。（敬称略）

斉藤富太郎（岩手）
日野義一郎（広島）
加藤　茂（宮城）
中田㈱一（京橋）
大橋光次（岐阜）
佐々木　清（静岡）
平岩宗平（西三河）
佐野喜多雄（大森）
永井源太郎（尾張）
水野良蔵（栃木）
茂垣光雄（世田谷）
田口直道（大森）
渡辺忠男（新潟）
高木健吉（広島）
稲浜　弘（三重）
田口喜一郎（京橋）
大久保清次（下谷）
北原信英（熊本）
藤井貞雄（広島）
彦坂信義（旭川）
高山軍一（福岡）
網　助一（函館）
新谷武敏（愛媛）
田頭規矩一（兵庫）
河村秀正（静岡）
橋詰種彦（栃木）
太田堅蔵（秋田）
栗林真吾（佐賀）
入江正澄（福島）
鈴木源治郎（京橋）
静間孝介（大阪）
山口隆英（静岡）
細川富士雄（練馬）
長井頼逸（芝）
長山参三（埼玉）

橋本田鶴子（下谷）
工藤一郎（青森）
沖　良陽（高知）
林　清（岡山）
高橋兼亮（広島）
杉本是正（宮城）
外川　浩（山梨）
遠藤高徳（徳島）
松山茂樹（玉川）
松平　康（四谷）
相　三衛（尾張）
沢井維一（鹿児島）
樋出誠道（香川）
佐々木俊秀（長崎）
長谷川護一郎（秋田）
伊藤五郎（札幌）
長　文吾（鹿児島）
有賀　儒（北）
倉繁房吉（鳥取）
藤堂弥一（旭川）
大川村太（福岡）
藤本　茂（福岡）
岩沼　至（山形）
佐藤良俊（秋田）
浦野与四郎（富山）
岩本清美（埼玉）
田辺四郎（北）
堀　英一郎（南信）
岩佐重吉（大阪）
土橋保重（山梨）
興津義雄（千葉）
加藤慎一（静岡）
榎本昌憲（静岡）
小林　保（秋田）
中牟田作太郎（福岡）

針谷安太（札幌）
亀田　藩（玉川）
木村　茂（石川）
柳川好雄（山口）
服部三子三（札幌）
村瀬正雄（蒲田）
猪狩政一（福島）
阿部和夫（千葉）
今野一磨（群馬）
林　信次（埼玉）
鈴木鐘一（宮城）
岡田武三（兵庫）
合原一二（福岡）
田崎良光（茨城）
中山　章（山口）
笠井久之（芝）
斉藤亮治（小樽）
木津義雄（旭川）
金子信敏（浅草）
矢島好定（北多摩）
橋高八郎（広島）
佐野健三（千葉）
杉山忠直（横浜西部）
藤島四郎（空知）
寺本藤助（三重）
上田喜一（豊島）
藤原　寿（岡山）
山口公康（札幌）
大西正久（兵庫）
大鶴悦郎（淀橋）
田中保吉（札幌）
大橋作夫（横須賀鎌倉）
福田四郎（旭川）

牧　重久（本所）
村岡林吾（佐賀）
飯塚豪男（群馬）
和田義雄（旭川）
天野郎一（西三河）
菊池辰夫（豊島）
竹村善次郎（茨城）
新保政美（静岡）
小林潤一（京都）
小口哲司（十勝）
樋口元三郎（大阪）
高山忠和（宮崎）
猪坂逸治（兵庫）
多胡健治（札幌）
石山芳雄（青森）
岸田　実（鳥取）
花沢　清（千葉）
蒲　隆（旭川）
河原三男（尾張）
神保育児（旭川）
館山六郎（青森）
横山正人（山形）
山本広之（尾張）
田村利威（兵庫）
加藤元益（鳥取）
宮田大喜（熊本）
中川正一（山形）
吉田良収（旭川）
吉田憲平（十勝）
庄田胤富（函館）
林　健（湘南）
吉田秀雄（三重）
佐藤辰三郎（函館）
浅川正吾（三重）
小倉　亮（四谷）

（届出願）以上 138名

昭和55年度東京歯科大学同窓会共済部報告

（昭和54年９月25日～昭和55年９月30日）

昭和54年　（敬称略）

９月　神奈川県　長塚　長　家屋全焼
９月　兵庫県　元津　陽一　床上浸水（台風16号）
９月　兵庫県　富岡　純一　床下浸水（台風16号）
10月　福島県　五代儀　昭　床上浸水（台風20号）
10月　東京都　中村　淳　家屋全焼
12月　神奈川県　森田　純司　家屋全焼

昭和55年

２月　群馬県　上岡　道旦　家屋全焼
５月　福岡県　橋本　高明　家屋全焼
８月　静岡県　山本　雍久　家屋全焼

○火災，水害による罹災会員に共済規程により見舞金を贈呈した会員は次の通りです。（敬称略）

長塚　長（神奈川県）　元津　陽一（兵庫県）　富岡　純一（兵庫県）
五代儀　昭（福島県）　中村　淳（東京都）　森田　純司（神奈川県）
上岡　道旦（群馬県）　橋本　高明（福岡県）　山本　雍久（静岡県）

○昭和54年10月１日より昭和55年９月30日までに弔慰金を贈呈した会員は次の通りです。（敬称略）

笠井　直一（鹿児島）　前川　平重（埼玉）　幾野　政紀（福岡）　山下　武二（群馬）
山崎　謙（千葉）　青田　寿治（兵庫）　斉藤　富太郎（岩手）　橋本　田鶴子（下谷）
針谷　安太（札幌）　村岡　林吾（佐賀）　工藤　一郎（青森）　加藤　茂（宮城）
木村　茂（石川）　和田　義雄（旭川）　中田　昤一（京橋）　林　清（岡山）
柳川　好雄（山口）　天野　郎一（西三河）　大橋　光次（岐阜）　高橋　兼明（広島）
服部　三子三（札幌）　菊池　辰夫（豊島）　佐々木　清（静岡）　杉本　是正（宮城）
村瀬　正雄（蒲田）　竹村　善次郎（茨城）　平岩　宗平（西三河）　外川　浩（山梨）
猪狩　政一（福島）　新保　正美（静岡）　佐野　喜多雄（大森）　遠藤　高徳（徳島）
阿部　和夫（千葉）　小林　潤一（京都）　永井　源太郎（尾張）　松山　茂樹（玉川）
今野　一磨（群馬）　小口　哲司（十勝）　水野　良蔵（栃木）　松平　康（四谷）
林　信次（埼玉）　樋口　元三郎（大阪）　相　三衛（尾張）　鈴木　鐘一（宮城）
高山　忠和（宮崎）　田口　直道（大森）　沢井　維一（鹿児島）　岡田　武三（兵庫）
猪坂　逸治（兵庫）　渡辺　忠男（新潟）　樋出　誠道（香川）　合原　一二（福岡）
多胡　健治（札幌）　高木　健吉（広島）　佐々木　俊秀（長崎）　田崎　良光（茨城）
石山　芳雄（青森）　稲浜　弘（三重）　長谷川　護一郎（秋田）　中山　章（山口）
岸田　実（鳥取）　田口　喜一郎（京橋）　笠井　久之（芝）　花沢　清（千葉）
大久保　清次（下谷）　長　文吾（鹿児島）　斉藤　亮治（小樽）　北原　信英（熊本）
木津　義雄（旭川）　河原　三男（尾張）　藤井　貞雄（広島）　倉繁　房吉（鳥取）
金子　信敏（浅草）　神保　育児（旭川）　彦坂　信義（旭川）　藤堂　弥一（旭川）
矢島　好定（北多摩）　高山　軍一（福岡）　大川　村太（福岡）　橋高　八郎（広島）
横山　正人（山形）　網　助一（函館）　藤本　茂（千葉）　佐野　健三（千葉）
山本　広之（尾張）　岩沼　至（山形）　杉山　忠直（横浜西部）　田村　利威（兵庫）
田頭　規矩一（兵庫）　佐藤　良俊（秋田）　加藤　元益（鳥取）　河村　秀正（静岡）
浦野　与四郎（富山）　寺本　藤助（三重）　宮田　大喜（熊本）　橋詰　種彦（栃木）
岩本　清美（埼玉）　上田　喜一（豊島）　中川　正一（山形）　太田　堅蔵（秋田）
田辺　四郎（北）　藤原　寿（岡山）　吉田　良収（旭川）　栗林　真吾（佐賀）
堀　英一郎（南信）　山口　公康（札幌）　吉田　憲平（十勝）　入江　正澄（福島）
岩佐　重吉（大阪）　大西　正久（兵庫）　鈴木　源治郎（京橋）　土橋　保重（山梨）
大鶴　悦郎（淀橋）　林　健（湘南）　静間　孝介（大阪）　吉田　秀雄（三重）
山口　隆英（静岡）　加藤　慎一（静岡）　大橋　作夫（横須賀鎌倉）　佐藤　辰三郎（函館）
細川　富士雄（練馬）　福田　四郎（旭川）　牧　重久（本所）
小林　保（秋田）　中牟田　作太郎（福岡）　浅川　正吾（三重）

以上 126名

昭和54年度　東京歯科大学同窓会経常部収支決算書

（自 昭和54年１月１日～ 至 昭和54年12月31日）

（収 入 の 部）　　△印＝減額

科　　目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	摘　　要
会　　費	49,761,000	56,132,400	6,371,400	昭和36～39年度　700円×　94人 〃　40～42年度1,200円×　78人 〃　43～47年度1,700円×　247人 〃　48年度3,200円×　83人 〃　49年度3,500円×　143人 〃　50年度6,000円×　170人 〃　51年度7,000円×　161人 〃　52年度8,000円×　251人 〃　53年度8,000円×1,042人 〃　54年度8,000円×5,287人
入　会　金	905,000	900,000	△　5,000	新卒 5,000円×170人 他50,000円×１人
雑　収　入	1,210,000	4,340,216	3,130,216	広告料，利息その他
研修会等収入	10,000	0	△　10,000	
助　成　金	1,000,000	1,000,000	0	
前年度繰越金	6,800,000	9,617,329	2,817,329	
合　　計	59,686,000	71,989,945	12,303,945	

（支 出 の 部）

科　　目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	摘　　要
事　務　費	38,270,000	33,745,018	△ 4,524,982	
給　与　費	11,654,000	11,840,813	186,813	
旅費交通費	16,614,000	12,002,430	△ 4,611,570	
通　信　費	400,000	961,468	561,468	
電　話　料	550,000	504,760	△　45,240	
印　刷　費	800,000	791,574	△　8,426	
消耗品費	150,000	190,356	40,356	
渉　外　費	1,800,000	1,445,110	△　354,890	
交　際　費	1,700,000	1,739,865	39,865	
慶　弔　費	1,300,000	1,305,000	5,000	
海外出張補助費	500,000	250,000	△　250,000	
集金手数料	2,502,000	2,397,600	△　104,400	
雑　費	300,000	316,042	16,042	
事　業　費	15,060,000	15,228,555	168,555	

科目	予算額	決算額	増減額	摘要
会報発行費	13,230,000	13,935,245	705,245	
研修会等学術関係	600,000	602,400	2,400	
会合費	400,000	395,790	△ 4,210	
講師派遣旅費	400,000	42,120	△ 357,880	
雑費	430,000	253,000	△ 177,000	
会議費	3,400,000	2,871,869	△ 528,131	
役員会	600,000	505,249	△ 94,751	
評議員会・支部長会	1,700,000	2,357,130	△ 342,870	
総会費	1,000,000			
雑費	100,000	9,490	△ 90,510	予備費使用内訳 84,000（冷蔵庫1台） 372,888（ルームクーラ1台） 232,000（タイプライター1台）
予備費	1,741,000	688,800	△ 1,052,200	
特別会計への繰入	1,215,000	1,210,000	△ 5,000	
同窓会基金	905,000	900,000	△ 5,000	
血脇記念基金	100,000	100,000	0	
名簿積立金	10,000	10,000	0	
退職積立金	200,000	200,000	0	
小計	59,686,000	53,744,242	△ 5,941,758	三菱普通 12,908,195 三菱定期 5,320,000 郵便振替 17,508
次年度繰越金		18,245,703	18,245,703	
合計	59,686,000	71,989,945	12,303,945	

昭和54年度　東京歯科大学同窓会基金収支決算書

（自 昭和54年1月1日～ 至 昭和54年12月31日）

収入			支出		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
経常部より	900,000	入会金	同窓会創立80周年記念募金事業特別会計へ繰入	10,000,000	
雑収入	601,148	利息			
		三菱普通 33,617			三菱普通 107,934
前年度繰越金	21,019,481	三菱定期 13,732,326	次年度繰越金	12,520,629	三菱定期 4,797,371
		安田貸付信託 5,360,000			安田貸付信託 5,360,000
		安田金銭信託 1,893,538			安田金銭信託 2,255,324
合計	22,520,629		合計	22,520,629	

昭和54年度　東京歯科大学同窓会血脇記念基金収支決算書

（自 昭和54年1月1日～ 至 昭和54年12月31日）

収入			支出		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
経常部より	100,000				
雑収入	63,958	利息			
前年度繰越金	1,856,942	三菱普通 102,497 三菱定期 1,754,445	次年度繰越金	2,020,900	三菱普通 203,296 三菱定期 1,817,604
合計	2,020,900		合計	2,020,900	

昭和54年度　東京歯科大学同窓会共済基金収支決算書

（自 昭和54年1月1日～ 至 昭和54年12月31日）

収入			支出		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
共済負担金	21,307,600	昭和36～42年度 300円×172人 昭和43～48年度 800円×345人 昭和49～51年度 1,500円×528人 昭和52～53年度 2,000円×1,571人 昭和54年度 3,000円×5,682人	共済金	21,710,000	1）弔慰共済金 20,460,000 本部扱 19,710,000 （18万円×107人 15万円× 3人） 日産扱 750,000 （15万円× 5人） 2）罹災共済金 1,250,000 18万円× 5人 10万円× 3人 5万円× 1人
寄付金	0				
雑収入	126,872	利息	事務費	160,185	通信費その他
日産弔慰金収入	750,000	日産生命団体定期保険収入（15万円×5人）			
前年度繰越金	10,281,737		次年度繰越金	10,596,024	三菱普通 2,795,061 三菱定期 6,000,000 安田貸付信託 1,000,000 安田金銭信託 800,963
合計	32,466,209		合計	32,466,209	

昭和54年度　東京歯科大学同窓会名簿積立金収支決算書

（自 昭和54年1月1日～ 至 昭和54年12月31日）

収入			支出		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
経常部より	10,000				
雑収入	38,280	利息			
前年度繰越金	1,396,324	三菱普通 96,324 三菱定期 1,300,000	次年度繰越金	1,444,604	三菱普通 144,604 三菱定期 1,300,000
合計	1,444,604		合計	1,444,604	

昭和54年度　東京歯科大学同窓会退職積立金収支決算書

（自 昭和54年1月1日～ 至 昭和54年12月31日）

収入			支出		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
経常部より	200,000				
雑収入	38,246	利息			
前年度繰越金	1,471,037	三菱普通 71,037 三菱定期 1,400,000	次年度繰越金	1,709,283	三菱普通 309,283 三菱定期 1,400,000
合計	1,709,283		合計	1,709,283	

昭和54年度　東京歯科大学同窓会同窓会創立80周年記念募金事業特別会計収支決算書

（東京歯科大学施設整備資金募金）

（自 昭和54年1月1日～ 至 昭和54年12月31日）

収入			支出		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
同窓会基金より	10,000,00		募金諸費	4,638,072	給与費 967,342 旅費交通費 2,449,680 通信費 520,140 印刷費 340,700 会合費 273,400 雑費 86,810
雑収入	96,463	利息			
			次年度繰越金	5,458,391	三菱普通 5,458,391
合計	10,096,463		合計	10,096,463	

昭和54年度　東京歯科大学同窓会財産目録

昭和54年12月31日現在

1，備　品（購入価格３万円以上）

	品　　目	数　量	購入年月	購入価格	備　　考
1.	二　重　戸　棚	2 { 1	45. 9	38,600	
		1	45. 9	38,600	
2.	フ　ー　タ　ー	1	46. 4	99,000	
3.	宛　名　印　刷　機	1	51. 8	485,000	
4.	冷　蔵　庫	1	54. 6	84,000	
5.	ル　ー　ム　ク　ー　ラ　ー	1	54. 7	372,800	
6.	タ　イ　プ　ラ　イ　タ　ー	1	54. 12	232,000	
計	6　品　目	7		1,350,000	

（耐用年数10年を経過）

	品　　目	数　量	購入年月	購入価格	備　　考
1.	金　庫	1	42. 12		寄　贈
2.	ポラロイドカメラ	1	42. 10	80,000	
3.	スライド映写機	2 { 1	42. 10	44,000	
		1	42. 10	44,000	
4.	タ　イ　プ　ラ　イ　タ　ー	1	43. 11	91,750	
5.	ナショナルWXアンプ	1	44. 1	71,300	
計	5　品　目	6		331,050	

1.　債　　券

割引電信電話債券　　額　面　320,000円　昭和54年３月償還

監　　査　　報　　告

昭和54年度東京歯科大学同窓会経常収支決算書，特別会計収支決算書，（即ち，同窓会基金決算，血脇記念基金決算，共済基金決算，名簿積立金決算，退職積立金決算，同窓会創立80周年記念募金事業決算）及び財産目録につき諸帳簿，証憑書類を監査した結果適正に処理されていることを認めます。

昭和55年10月4日

監　事　滝　　義　胤　㊞

監　事　高　木　圭　二　郎　㊞

東京歯科大学同窓会財産処分（備品廃棄，債券償還）目録

1. 備　品

タイプライター　1台

昭和43年11月に購入，11年を経過老朽化し修理不能のため。

1. 債　券

割引電信電話債券　額 面　320,000円，昭和54年3月償還のため。

昭和56年度　事　業　計　画

総　務　部

1. 諸会合の準備と調整並びに運営を行う。
2. 会員の入退会の迅速なる確認を行い，かつ会員現況の把握並びに名簿の補充完備を図る。
3. 母校，父兄会，学生会との連携を図る。
4. 同窓会創立80周年記念事業（東京歯科大学施設整備資金募金）の推進に努める。
5. 東京歯科大学創立90周年並びに千葉校舎竣工式等の諸行事に対し協賛する。

会　計　部

1. 経常部および特別会計収支予算の適正なる運用を図る。
2. 会費，負担金，その他の費用の収納に努め，預金，現金，備品等の適正なる管理を図る。

渉　外　部

1. 各歯科大学同窓会との交流を図り，一層緊密なる友好を深める。
2. 同窓会員の歯科医政関係者と緊密な連携を保ち懇談会などを開催し医政の推進を図る。

学　術　部

1. 学術委員会の機能を強化して，企画運営の向上を図る。
2. 東京歯科大学の協力のもとにＴＤＣ卒後研修セミナーを系統的に開催する。
3. 学術講演会等を開催する。
4. 進学指導セミナーを開催し，同窓の要望にこたえる。
5. 同窓の母校一日入学を斡旋する。

広　報　部

1. 会報を年6回発行し，会員との情報交換を図る。

共　済　部

1. 共済制度の健全なる運営と内容の充実を図る。

昭和56年度　東京歯科大学同窓会経常部収支予算

（自 昭和56年1月1日～ 至 昭和56年12月31日）

（収 入 の 部）　　△印＝減額

目　　科	昭56年度予算案	昭55年度予算	比　　較	摘　　要
会　　費	62,529,600	63,252,000	△ 722,400	700円×285人　7,000円×　48人 1,200円×190人　8,000円×　209人 1,700円×　95人　10,000円×　855人 3,200円×　38人　10,000円×5,090人 3,500円×　38人 6,000円×　38人　計　6,886人
入　会　金	950,000	920,000	30,000	新　卒　5,000円×170人 他　50,000円×　2人
雑　収　入	1,250,000	1,150,000	100,000	利息，その他
研修会等収入	10,000	10,000	0	
助　成　金	3,000,000	1,000,000	2,000,000	含特別助成金　2,000,000円
前年度繰越金	13,000,000	9,500,000	3,500,000	含割引電信電話債券償還金　320,000円
合　　計	80,739,600	75,832,000	4,907,600	

（支 出 の 部）

科　　目	昭56年度予算案	昭55年度予算	比　　較	摘　　要
事　務　費	44,480,000	42,485,000	1,995,000	
給　与　費	15,830,000	14,900,000	930,000	
旅費交通費	15,900,000	18,000,000	△ 2,100,000	
福祉厚生費	250,000	0	250,000	新　設
通　信　費	790,000	800,000	△ 10,000	
電　話　料	600,000	550,000	50,000	
印　刷　費	1,220,000	950,000	270,000	
備品購入費	1,100,000	0	1,100,000	新　設
消耗品費	180,000	180,000	0	
交　際　費	2,800,000	1,800,000	1,000,000	含大学創立90周年記念行事等
慶　弔　費	1,350,000	1,300,000	50,000	
海外出張補助費	350,000	500,000	△ 150,000	
集金手数料	3,210,000	3,175,000	35,000	
雑　　費	900,000	330,000	570,000	
事　業　費	22,600,000	22,520,000	80,000	
広報関係費	19,000,000	18,590,000	410,000	名称の変更
渉　外　費	2,000,000	2,000,000	0	事務費より移款
研修会等学術関係	600,000	700,000	△ 100,000	
会　合　費	500,000	450,000	50,000	
講師派遣交通費	400,000	400,000	0	
雑　　費	100,000	380,000	△ 280,000	
会　議　費	3,600,000	3,600,000	0	
役　員　会	600,000	600,000	0	
評議員会，支部長会	1,900,000	1,900,000	0	
総　会　費	1,000,000	1,000,000	0	
雑　　費	100,000	100,000	0	

科目	昭56年度予算案	昭55年度予算	比較	摘要
予備費	3,089,600	3,007,000	82,600	
特別会計への繰入	6,970,000	4,220,000	2,750,000	
同窓会基金	3,270,000	920,000	2,350,000	含特別助成金，割引電信電話債券償還金
血脇記念基金	100,000	100,000	0	
名簿積立金	3,000,000	3,000,000	0	
退職積立金	600,000	200,000	400,000	
合計	80,739,600	75,832,000	4,907,600	

東京歯科大学同窓会共済規程の一部改正

現行	改正
第6条 一　死亡の場合 イ．弔慰共済金　１８万円 二　火災罹災の場合　罹災共済金 イ．全焼の場合　１８万円	第6条 一　死亡の場合 イ．弔慰共済金　２０万円 二　火災罹災の場合　罹災共済金 イ．全焼の場合　２０万円
付則 第13条　この規程は昭和54年１月１日から施行する。	付則 第13条　この規程は昭和56年１月１日から施行する。 追加　昭和55年11月22日改正 昭和56年１月１日施行

昭和56年度　東京歯科大学同窓会同窓会基金収支予算

（自 昭和56年１月１日～ 至 昭和56年12月31日）

収入			支出		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
経常部より	3,270,000	入会金，特別助成金，割引電信電話債券償還金	同窓会創立80周年記念募金事業へ繰入	2,000,000	
雑収入	650,000	利息，その他			
前年度繰越金	13,930,000		繰越金	15,850,000	
合計	17,850,000		合計	17,850,000	

昭和56年度　東京歯科大学同窓会血脇記念基金収支予算

（自 昭和56年１月１日～ 至 昭和56年12月31日）

収入			支出		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
経常部より	100,000				
雑収入	80,000	利息，その他			
前年度繰越金	2,200,000		繰越金	2,380,000	
合計	2,380,000		合計	2,380,000	

昭和56年度　東京歯科大学同窓会共済基金収支予算

（自 昭和56年1月1日～ 至 昭和56年12月31日）

収入			支出		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
共済負担金	25,842,400	300円×　475人 800円×　143人 1,500円×　151人 2,000円×　142人 3,000円×1,065人 4,000円×5,470人 計　7,446人	共済金	25,000,000	弔慰共済金 23,000,000 （200,000円×115人） 罹災共済金 火災，風水害地震等 2,000,000
寄付金	100		事務費	300,000	
雑収入	300,000	利息，その他	予備費	8,842,500	
前年度繰越金	8,000,000				
合計	34,142,500		合計	34,142,500	

昭和56年度　東京歯科大学同窓会名簿積立金収支予算

（自 昭和56年1月1日～ 至 昭和56年12月31日）

収入			支出		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
経常部より	3,000,000				
雑収入	90,000	利息，その他			
前年度繰越金	4,490,000		繰越金	7,580,000	
合計	7,580,000		合計	7,580,000	

昭和56年度　東京歯科大学同窓会退職積立金収支予算

（自 昭和56年1月1日～ 至 昭和56年12月31日）

収入			支出		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
経常部より	600,000				
雑収入	75,000	利息，その他			
前年度繰越金	1,587,000		繰越金	2,262,000	
合計	2,262,000		合計	2,262,000	

昭和56年度　東京歯科大学同窓会

同窓会創立80周年記念募金事業特別会計収支予算

（東京歯科大学施設整備資金募金）

（自 昭和56年１月１日～ 至 昭和56年12月31日）

収入			支出		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
同窓会基金より	2,000,000		募金諸費	3,680,000	
雑収入	80,000	利息，その他			
前年度繰越金	2,100,000		予備費	500,000	
合計	4,180,000		合計	4,180,000	

昭和55年度　名誉会員推薦名簿

名誉教授　竹内光春（元東京歯科大学口腔衛生学主任教授）

昭和55年秋の叙勲並びに褒章に当り，その栄誉に浴された本会関係諸先生は次のとおりであります。心からお祝い申し上げます。

勲五等双光旭日章　高木　昂氏（東京都）
勲五等瑞宝章　高橋　謙作氏（神奈川県）
勲五等瑞宝章　榊原　政雄氏（宮城県）
藍綬褒章　穂積　藤雄氏（愛知県）
藍綬褒章　猪子　壽一氏（徳島県）

昭和54年度　東京歯科大学同窓会

卒後研修セミナー収支決算書（第4年次）

（自 昭和54年1月1日～至 昭和54年12月31日）

収入の部

△印＝減額

科　目	予算額	決算額	増減額	摘　要
受講料（第4年次）	51,600,000	52,875,000	1,275,000	本年度収入@12万×106人@6万×296人@15,000円×1人　計 30,495,000円 前年度収入繰越金振替（前受金） 22,380,000円
受講料（第5年次）	0	660,000	660,000	次年度受講料収入（前受金）@12万×5人@6万×1人　計 660,000円
雑収入	600,000	985,966	385,966	利息，その他
前年度繰越金	11,467,172	11,467,172	0	前年度繰越金 33,847,172円 の 内 22,380,000円 第4年次前受金のため受講料収入に振替
合　計	63,667,172	65,988,138	2,320,966	

支出の部

科　目	予算額	決算額	増減額	摘　要
講師謝礼費(A)	5,400,000	6,320,000	920,000	講師延人数 34名
〃 (B)	800,000	720,000	△ 80,000	延人数 35名
資料作成費	2,080,000	1,130,000	△ 950,000	延人数 33名
役務費	1,200,000	1,109,100	90,900	補助員，その他
事務委託費	1,440,000	1,440,000	0	54/1～54/12
設営費	11,700,000	11,312,884	△ 387,116	9回（延日数9日）経団連会館
旅費交通費	8,400,000	5,721,350	△ 2,678,650	
通信費	2,700,000	805,667	△ 1,894,333	
印刷費	5,500,000	5,898,285	398,285	
消耗品費	390,000	42,724	△ 347,276	
資材備品費	780,000	1,597,625	817,625	
会議費	3,750,000	3,835,295	85,295	
広告費	400,000	229,000	△ 171,000	
雑費	300,000	181,028	△ 118,972	
渉外費	600,000	228,390	△ 371,610	
委託研究費	3,000,000	1,600,000	△ 1,400,000	
予備費	15,227,172	0	△15,227,172	
次年度繰越金	0	23,816,790	23,816,790	繰越金中第5年次前受金 660,000円を含む 定期（富士銀行）20,000,000円，普通（富士銀行）3,815,900円，郵便振替残高890円
合　計	63,667,172	65,988,138	2,320,966	

昭和54年度　東京歯科大学同窓会

進学指導セミナー収支決算書（第７回）

（自 昭和54年１月１日～ 至 昭和54年12月31日）

（収 入 の 部）　　△印＝減額

科　目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	摘　要
受 講 料	12,700,000	13,240,000	540,000	
Aクラス	11,200,000	11,340,000	140,000	@ 70,000円×162名
Bクラス	1,500,000	1,900,000	400,000	@ 20,000円× 95名
雑 収 入	750,000	1,029,879	279,879	利息，その他　417,879円 Aクラス資料配布 60,000円（@ 20,000円×３名） 問題集売上 552,000円（@ 6,000円×92組）
前年度繰越金	9,251,392	9,251,392	0	
合　計	22,701,392	23,521,271	819,879	

（支 出 の 部）

科　目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	摘　要
講師謝礼費	3,000,000	3,250,000	250,000	
資料作成費	450,000	375,000	△ 75,000	
設 営 費	7,000,000	6,205,190	△ 794,810	Aクラス（16日）Bクラス（２日）笹川記念会館
印 刷 費	1,500,000	1,833,825	333,825	
役 務 費	1,000,000	80,753	△ 919,247	
旅費交通費	2,000,000	1,761,980	△ 238,020	
消 耗 品 費	300,000	23,612	△ 276,388	
会 議 費	1,000,000	1,006,866	6,866	
通 信 費	200,000	258,350	58,350	
雑 費	100,000	41,400	△ 58,600	
問題集作成準備費	3,000,000	2,340,000	△ 660,000	
予 備 費	3,151,392	0	△ 3,151,392	
次年度繰越金	0	6,344,295	6,344,295	三菱普通　1,344,295円 三菱定期　5,000,000円
合　計	22,701,392	23,521,271	819,879	

本部短信

1） 行事，役員出張，その他

10月2日　高山紀斎先生墓地改修供養　河邊会長参列
4日　会計監査（監査）滝，高木監事
（立会）河邊会長，安嶋副会長，関口（敏），福本，津島，菊池理事
13日　卒後研修特別委員会(企画小委員会)
14日　卒後研修セミナー講師打合会
15日　広報部委員会（会報編集）
16日　役員打合会（総務，会計担当理事）
17日　兵庫県歯科医師会創立80周年記念式典　井上名誉会長列席
17日　いそむ会創立30周年記念祝賀会　伊丹副会長列席
17日　卒後研修セミナー講師打合会
18日　北陸地域支部連合会総会　伊丹副会長，中久喜，白崎理事出張
18日　四国地域支部連合会総会　安嶋副会長，杉山，馬嶋理事出張
18日　名誉会員故神野長太郎氏葬儀　菊池理事参列
19日　埼玉県支部総会　阿部副会長出張
21日　常任理事会
22日　卒後研修特別委員会(会計小委員会)
24日　第9回ゴルフ大会　板垣副会長出張
25日　九州地域支部連合会総会　阿部副会長，佐々木，野上理事出張
28日　卒後研修セミナー講師打合会
29日　卒後研修特別委員会（合同）
31日　卒後研修セミナー講師打合会
11月3日　青森県支部総会　板垣副会長出張
4日　卒後研修セミナー講師打合会
6日　卒後研修特別委員会(企画小委員会)
8日　卒後研修セミナー講師打合会
9日　全国歯科大学同窓，校友懇話会　河邊会長，伊丹副会長，熱田，天野理事出張
11月13日　卒後研修セミナー講師打合会
15日　鳥取県支部総会　安嶋副会長出張
16日　東京地域支部連合会総会　阿部副会長出張
16日　関東地域支部連合会総会　河邊会長関口(敏)，荒井理事出張
16日　顧問，名誉会員　故　入江義次　氏葬儀　板垣副会長参列
18日　卒後研修特別委員会（モニターリング小委員会）
21日　理事会
22日　昭和55年度評議員会，第86回定時総会（午前9時　於白金プリンス迎賓館）
23日　近畿地域支部連合会総会　河邊会長溝上，林理事出張
23日　評議員　故　小林与兵衛氏葬儀　安嶋副会長参列
25日　広報部委員会
28日　大学幹部，卒後研修特別委員会委員との懇談会　河邊会長他役員出席
29日　愛媛県支部総会　馬嶋理事出張
29日　神奈川県支部連合同窓会総会　阿部副会長出張
29日　大森支部総会　熱田理事出張

2） 罹災会員

佐賀県支部　佐藤　曄（昭19.9卒）
（昭55.8.30 床上浸水）

3） 支部長交替

福島県支部　本間藤彦（昭17.9卒）55.10.16交替
埼玉県支部　加島忠道（昭14.3卒）55.10.19交替

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。（敬称略・届出順）

●推薦 北信支部	宮沢五助（91才） 〒380　長野市岩石町251	心不全	55. 10. 4
●大4卒 山梨県支部	相原元（90才） 〒409-36　山梨県西八代郡市川大門町1, 278	老衰	55. 10. 15
●医学校 川崎支部	神野長太郎（83才） 〒210　川崎市川崎区砂子2—5—4	老衰	55. 10. 16
●大6卒 横浜北部支部	岸昌平（87才） 〒222　横浜市港北区篠原町富士塚1, 982	心肺機能不全左大腿骨骨折	55. 10. 16
●大14卒 静岡県支部	竹下忠平（82才） 〒420　静岡市瀬名1, 121—10	脳栓塞	55. 10. 14
●医学校 豊島支部	鈴木央（81才） 〒171　豊島区雑司ヶ谷2—9—4	急性肺炎	55. 10. 26
●推薦 品川支部	鈴木公重（78才） 〒140　品川区北品川5—21—23	老衰	55. 10. 26
●昭15卒 鳥取県支部	秋庭美津男（62才） 〒680　鳥取市今町1—50	直腸癌	55. 10. 24
●昭43卒 芝支部	大谷勘（42才） 〒108　港区三田5—7—8　シャンボール三田1, 218	肝臓癌	55. 11. 2
●医学校 本郷支部	金子保（86才） 〒166　杉並区成田西1—16—14	胃癌	55. 11. 5
●昭25卒 芝支部	佐藤昭（54才） 〒105　港区虎ノ門1—8—14	心筋硬塞	55. 11. 9
●昭4卒 三重県支部	村木正夫（80才） 〒510　四日市市日永4—5—19	心不全	55. 11. 10
●大5卒 福岡県支部	山近憲之（87才） 〒806　北九州市八幡西区木屋瀬350—8	脳血栓	55. 11. 7
●昭8卒 秋田県支部	金内光夫（73才） 〒018-07　秋田県由利郡大内町岩谷町字日渡252	肺気腫	55. 11. 13
●大3卒 本所支部	入江義次（92才） 〒130　墨田区緑2—11—9	慢性虚血性心不全	55. 11. 14
●推薦 兵庫県支部	土田専一（83才） 〒659　芦屋市大桝町38	脳血栓	55. 10. 7
●推薦 京橋支部	木田金松（91才） 〒103　中央区八丁堀3—6	心不全	55. 11. 18
●大2卒 山形県支部	小林与兵衛（93才） 〒990　山形市白川町3—15—21	急性肺炎	55. 11. 19

第9回　同窓会主催全国ゴルフ大会

去る10月24日(金)神奈川県下にある，レイクウッドゴルフクラブ東コースにて，全国各地から約170名の同窓が参加して，盛大に挙行されました。当地では3回目ということと，好天に恵まれましたので，比較的順調にプレー出来ましたことは望外の喜びであります。予定より早く4時半すぎに，表彰式ならびに懇親会を行いました。酒井先生の開会挨拶に続き，城谷大会会長，板垣同窓会会長代理，高橋神奈川支部連合会長の挨拶祝辞等を戴き，今回参加者の中で最高齢で元気にプレーされた立原健彦先生の音頭で乾盃，経過報告，会計報告，岡競技委員長より講評，成績発表についで，今回70才以上の同窓で参加された立原健彦先生，城谷加寿雄先生，高橋謙作先生の3名に，長寿を祝し益々御健勝にて，後輩の手本になられることを御願いして，記念品を盛大な拍手のなか板垣同窓会会長代理から贈呈されました。

優　勝　同窓会長杯　大町泰彦
準優勝　学長杯　東　孝一
シニヤ優勝　理事長杯　守　仁郎
ベスグロ賞　病院長楯　柴山謹一郎

つづいて50位まで，シニヤは5位まで賞品が授与されました。各賞受賞者からそれぞれ御礼のことばがあり，来年は千葉校舎落成記念，大学創立90周年記念等があるので，次回開催を千葉でやって欲しいと城谷会長から挨拶の中で話があり，これを受けて千葉県同窓会支部長榎本赳先生から，皆さんの強い要望があれば，地元に帰ってよく相談し御期待に添うよう努力するとの嬉しい御返事があり来年の再会を約して，山田先生の閉会の挨拶で終了致しました。今回は色々事情はあると思いますが当日無断で欠場者が3名いたことは，非常に残念なことでしたが，大多数の同窓各位，大会運営の役員の先生方の御協力に対して，世話係として心から感謝致します。

熱田俊之助
杉山邦夫

ご　挨　拶

大会名誉会長　河邊清治

同窓会主催全国ゴルフ大会は，全国各地より170名の多数の同窓会員の参加を得て，盛大裡に催されたことは，誠に喜ばしいことです。皆さんに親しくお会いして挨拶出来ることを楽しみにしておりましたが，どうしても都合がつかず失礼したことを御詫び致します。去る6月施行された衆参両院議員選挙は，皆さんの心からの温かい御協力と御支援の賜で，3議員とも立派な成績で当選出来ましたことと，同窓会80周年記念事業の一つである大学施設整備資金の募金も，目標の90%に達し，もう一歩の処に達しました事を報告申し上げると共に厚く御礼申し上げます。来年は千葉で開催される予定とか伺いましたが，多数の同窓が一堂に会し，和気藹々明日への英気を養えることは会長として，心から喜ばしいことと存じて居りますので，是非来年も盛大に挙行されることを望みます。

最後に関係各位の御協力を感謝致します。

ゴルフ大会を終って

大会会長　城谷加寿雄

昨年と同様，神奈川県同窓会員の御世話で，レイクウッドゴルフクラブで開催致しましたところ，全国各地より多数会員が参加され，参加者全員無事故にて非常にスムースに開催することが出来ました。天候にもめぐまれ，参加された各位の熱心なプレーと，いつもながらの紳士的な御協力に対して心から敬意と感謝をささげます。来年は母校千葉校舎の落成を待ち，創立90周年と，新校舎落成式の記念行事が行なわれる事となって居りますので，出来得れば千葉県同窓の御世話で千葉県下で開催したいと存じますので開催地，日時等決定次第会報に予告致しますので，その節は早めに申込みされ是非共御参加下さい。

最後に学校法人，大学当局及び同窓会長より数々の優勝杯を御寄贈下され誠に有り難うございました。大会運営に際しまして御骨折を戴きました関係役員諸先生に心から厚く御礼申し上げます。

『優勝』同窓会長杯を手にして

大　町　泰　彦（43年卒）

私は自動車の運転が出来ない為，ゴルフと言うと諸先輩の車に同乗させて頂くことが多く，今回のレイクウッドでも浜野伸彦先生と高橋宏光先生の多大な御世話になり，優勝させて頂き厚く御礼申し上げます。ゴルフを始めて今年で十年近くなりますが，振り返ってみると過去の八年間はたいした進歩はなかった様に思います。然しこの二年間，私の所属する京葉国際カントリー（千葉市）のクラブ代表選手になってから，対抗試合に出場させて頂き他の選手と御一緒して，過去の八年間で経験した以上の，ゴルフの色々な面での経験を積むことが出来ました。その御蔭でしようか最近は，いくらかゴルフの進歩したのが自分でもはっきり分かる様になりました。そこで思い当たることは，常に自分より上手な人とラウンドすることが，上達の最大の近道だと言うことでした。幸い千葉県には，ゴルフに限らず仕事の面でも人材が沢山おられますので，私も見習って益々磨きをかけたいと思っております。最後に，大会役員の諸先生方に心より御礼申し上げます。

準優勝の挨拶

東　　孝　一（38年卒）

予想もしない入賞と立派な学長杯を戴き，感激しております。変則キャロウエイ方式の（シークレットホール）法で行われるものと思っていましたしダボ1ケにパーディ2ケありH.D.C.をもらえず入賞は望めないだろう，然し翌日の同級会にも今日のスコアーが，影響するので1ストロークでもと頑張ったのが結果的に良かったのだと思います。正直いって広い二段グリンには手こずりました。例年38年卒はこの同窓会コンペに連続して級会コンペを箱根か川奈等で20名ぐらいで技を競いますが，何よりも嬉しいのは遠来の友とつもる話に花を咲かせ飲むほどに酔うほどに時を忘れて笑談するのが毎年の楽しみです。来年は私達の千葉県が担当になりました新校舎も竣工しますし是非皆様に喜こばれる大会になる様設営その他に頑張りたいと思いますので，どうぞよろしく御願い致します。

理事長杯を手に

守　　仁　郎（15年卒）

第9回東歯大同窓会ゴルフ大会シニヤ部で優勝し理事長杯を授与され感激一入でした。私のゴルフ歴の1ページを飾る栄誉な事であります。

私のゴルフ歴は44才から始めて約21年余りになります。それ以前は好んで野球をやり学生時代は陸上競技部に在籍して居りました。過激な運動が出来なくなってゴルフを始めました。ゴルフは私共年輩者の健康維持とストレス解消には最も適したスポーツでありますだけに私の生き甲斐であります。

当日は同伴競技者が同級生の岡肇（昭15年卒）森泰（昭15年卒）両先生でありましたので気楽にプレーが出来ました事と，もう1人の中井英夫先生（昭34卒）は若く飛ばし屋のシングルプレヤーですので何とかついて行けばと心掛けた事が好結果をもたらしたと思います。グロス85は私の最近にない好スコアーでした。

岡，森，中井三先生には大変愉快に，気持よくプレーをさせていただき此の紙面をかりて御礼申し上げます。

これから幾度大会に出場できますか，健康に留意し，皆様に御迷惑がかからぬ限り参加させていただく処存ですので宜しく御願い申します。

今後此の大会が益々発展し，永遠に続きます事を祈念致しペンを置きます。

BGによせて

麹町支部　柴山謹一郎（41年卒）

先ず，この大会を毎年大変な苦労を重ね実施，運営して下さる，諸先生方に心から感謝申し上げます。

私がゴルフを始めたのが丁度9年前，桜の花咲く4月でした。デビューコースは箱根の仙石ゴル

ゴルフ大会

フ1ラウンドのスコアーが77×2，コーチの先生と言えば，寺尾先生(芝) 山中先生(芝) 黒須先生(北)加部先生(麹) 山，坂に関係なく打ったクラブ2本持って走ること，と教わりゴルフとは苦しみながら走るものなり，打った球は右や左へと自由にならず，足は棒となり，身体中は痛くなり，その上マナーとやらがうるさく，こんな面倒なスポーツはないと思った。それが今では，この世でこんな面白いものはないと思う様になってしまい，まったく麻薬？みたいなものかも知れん。いかんと思った球が池の淵，いかんと思ったらナイスオン，いかんと思ったらカップイン，いかんいかんと思いつつ上ってみたら38，午後は42，43で上がれば恩の字，万一41で上がれば70台，そんなことを思ったとたんにボギーの連ちゃん。どうせ俺には，そんなスコアーは出せるはずがないと開きなおったとたんに，パーディ，パー，パーと続き，あれよ，あれよ，と思っている内に39，上ってみればどえらいスコアー。ゴルフとはこんなものなのだろうか，それとも北風ふく真冬に鼻水たらし昨日も300と打ちこんだ練習の結果なのだろうか，まったく不思議なスポーツなり。

山本義茂名誉教授日本学術会議会員に当選

第12期日本学術会議会員選挙の開票が12月1日終了し，同会議中央選挙管理会は同日夕，新会員210名の氏名を発表した。

今回母校からは第11期に引き続き山本名誉教授が立候補された。第7部会員23名中専門別歯学の定員は2名で，白数大歯大学長と新国日大歯学部教授はこの部門で，また山本名誉教授は前回同様専門にかかわらない票によって当選されたのである。

このことは従来から確立されてきた各歯科大学間の協調ムードの成果で，結果的には歯学から今回も3名の会員が誕生した訳で誠にご同慶の至りである。因みに得票数は山本義茂氏3,749，新国俊彦氏2,771，白数美輝雄氏2,124であった。

× × ×

よろず告知版

貸 診 療 所（現在開業中）

連絡先　所沢市上安松976の61　0429—24—6174　岡（おか）　昭子（あきこ）

（日中留守のため　P.M. 6.30 以降にお願い致します）

交　通　西武線（池袋線新宿線）所沢下車　清瀬駅／志木駅南口 行　西武秋津団地下車　2分

自動車の場合　関越自動車道　所沢インターより　10分

母校だより

○専門課程第３学年の登院式挙行さる

現専門課程第３学年学生は，いよいよ10月15日より実際の臨床実習に入るが，それに先立ち10月２日９時45分より水道橋校舎第４教室において登院式が挙行されれた。

登院式には松宮学長，金竹学監，高橋病院長，石川臨床教育委員長をはじめ臨床の教員，事務関係者多数が臨席した。

式は学長の挨拶，病院長の訓辞があり，つづいて臨床教育委員長による臨床各関係者の紹介が行われ厳粛なうちに終了した。

終了後，臨床教育委員長，瀬端学年主任の登院に際しての心がまえについてお話があり，臨床各科のオリエンテーションがそれぞれの医局長によって行われた。

なお，現３年生が水道橋校舎において臨床実習を行う最後の学年となる。

○学年副主任交代

1) 専２学年副主任交代（昭55. 9. 1付）
　新任：奥田　克爾　助教授（微生物）
　旧任：佐々木脩浩　講　師（微生物）
　（佐々木講師が９月より海外留学のため）

2) 専３学年副主任交代（昭55. 9. 1付）
　新任：根岸　康雄　講　師（補綴Ⅲ）
　旧任：小宮山彌太郎　講師（補綴Ⅲ）
　（小宮山講師が８月より海外留学のため）

○学位記授与

第267回(55. 7. 14)合格，第268回(55. 9. 8）授与
成瀬　　健（口外Ⅱ　第609号，甲285号）
徐　　貞姫（解剖　　第610号，乙325号）
川崎　　徹（口衛　　第611号，乙326号）

○海外往来

○高橋義夫教授（進程）

高橋教授は大学の命によりヨーロッパ各地における教育事情調査のため，８月３日より９月２日までの間出張した。

○奥田克爾助教授（微生物）

微生物学教室奥田克爾助教授は，1978年より８か月間スウェーデンのカロリンスカ大学齲蝕学教室にて，フッ素と齲蝕誘発性レンサ球菌，および転化糖と齲蝕誘発性レンサ球菌に関連する研究に従事した。その後，米国ニューヨーク州立大学の歯周病研究センターにて，約１年４カ月，歯周病ワクチン開発への基礎研究を続けていた。８月15日，約２年ぶりに無事帰国した。

○見明　清教授，上松博子講師，平山明彦助手
天野秀二大学院生（組織）

第11回国際解剖学会議に出席，研究発表のため本年８月16日 Mexico city に向け出発した。演題は Scanning and Transmission Elechon Microscopic Studies on Salivary Carpuscles で見明教授が発表した。同月27日４名とも無事帰国した。

○石川　達也教授（保存Ⅲ）
○高添　一郎教授（微生物）

日本歯科医師会からの依頼により，石川教授はＦＤＩ歯科教育ならびに診療委員会参与，高添教授は同常設委員会参与として西独・ハンブルグで開催された第68回ＦＤＩ総会に出席した。出張期間は８月27日より９月９日であった。

○羽賀　通夫教授（補綴Ⅰ）
○関根　　弘教授（補綴Ⅲ）

羽賀，関根両教授は西独・ハンブルグ市で開催の第68回ＦＤＩ総会に出席し，帰途フランクフルト大学歯学部，デンマーク・王立歯科大学などの再建，移転状況を視察のためヨーロッパに出張した。出張期間は８月26日より９月７日であった。

○長谷川正康教授（稲毛診）

長谷川教授は独逸 Hamburg で開催の第68回ＦＤＩにおける歯科器械材料についての展示会に出席のため，また，ミラノのパビア大学 Rysky 教授との共同研究連絡その他の目的で独逸，瑞西，仏国，伊国，に本年８月31日出発し９月12日に帰国した。

○佐々木脩浩講師（微生物）

佐々木講師は昭和55年度スウェーデン政府奨学金留学生として Karolinska 大学歯学部，齲蝕学教室主任 Göran Frostell 教授のもとに留学のため本年9月8日 Sweden に向け出発した。帰国は来年4月の予定である。

○小宮山彌太郎講師（補綴Ⅲ）

小宮山講師は Sweden の Göteborg 大学歯学部歯科補綴学教室主任 Björn Hedegard 教授のもとに Research fellow として1年間留学のため9月16日出発した。帰国は来年8月の予定である。

○田熊庄三郎教授（病理Ⅰ）

田熊教授はアメリカ・ニューオーリンズで開催の第121回ＡＤＡ総会出席，フロリダ大学アレン学長よりの依頼により同大学同窓会に学長の代理として出席のため9月30日より10月13日までの期間出張した。

○D. G. ウッドサイド教授のセミナー開催さる

ドナルド G. ウッドサイド教授の「機能的矯正装置による矯正治療の問題点とその対策」と題したセミナーが，10月8日午後6時より約2時間，矯正学教室の主催で第4教室において開催された。

ウッドサイド教授は，カナダのトロント大学歯学部矯正学教室主任教授で，その研究業績は，成長発育，機能的矯正法などの権威であり，世界的に有名な先生である。

教授は10月，4，5日の福岡で開催された日本矯正歯科学会に特別講演のため招待され来日したが，一色助教授とも親しい間柄で，先生の御厚意により特別にこのセミナーが企画された。関係者約50名が参加したが，最後まで活発な討論がおこなわれ盛会であった。

セミナーに先立ち，松宮学長，高添海外渉外部長をまじえ歓談されたが，学長より大学の記念メダルが贈呈され，両校の今後の友好関係について話合いがおこなわれた。

（文責　瀬端）

○第13回歯学体開催

第13回全日本歯科学生総合体育大会は，全国24歯科大学，大学歯学部参加のもとに鶴見大学歯学部の主管で行われた。

大会に先立つ7月10日午後5時30分より，水道橋校舎中央ホールにおいて，結団式が挙行された。

本学参加20種目中，ラグビーは昨年12月下旬にスキーは3月中に競技が行われ，残る18種目について，7月21日から同月28日までの8日間にわたって熱戦が競われた。総合成績では優勝九州歯科大学であり，本学は，準優勝愛知学院大学歯学部との点差，わずか1.33で惜くも第4位であった。

本学の部門別入賞は次の各部である。

優　勝　軟式庭球部，サッカー部，ヨット部，スキー部
準優勝　バトミントン部
第3位　バレーボール部，水泳部
第5位　硬式野球部，少林寺拳法部，空手道部

○人　事

辞職	助手	簡　邦彦	（市病産婦人科）	55. 7. 31
〃	〃	山内　幸司	（保存Ⅲ）	55. 8. 31
〃	〃	藤原　卿子	（市病歯科）	55. 8. 31
〃	講師	森谷　秀樹	（稲毛歯診）	55. 9. 31
〃	〃	林　甫	（補綴Ⅰ）	〃
〃	助手	秋葉　貢司	（保存Ⅰ）	〃
〃	〃	増田　隆宣	（補綴Ⅱ）	〃
〃	〃	木俣　茂	（〃）	〃
〃	〃	新井三千代	（法　歯）	〃
〃	〃	楊井　孝	（市病歯科）	〃
採用	講師	小野　成夫	（市病外科）	55. 7. 1
〃	〃	真木　健	（〃 産婦人科）	〃
〃	助手補	久保田雅子	（生理）	〃
〃	助手	小塙　清	（市病産婦人科）	55. 8. 1
休職	講師	林　甫	（補綴Ⅰ）	55. 7. 1～55. 9. 30
〃	助手	伊東　哲	（歯麻）	55. 7. 1～55. 9. 30

非常勤講師（継続と新任）

森村　儀一	（病理Ⅱ）	55. 9. 16
成瀬　健	（口外Ⅱ）	〃
山崎　安仁	（〃）	〃

昭和56年度東京歯科大学入学試験案内

来年度の母校入学試験の出願期間，試験期日などは次のように決りました。詳細は直接入学試験要項，要覧を取寄せてご覧下さい。

昭和55年度東京歯科大学入学試験案内

1. 修業年限 6年（進学課程2年，専門課程4年）

2. 募集人員 160名

3. 出願手続・受付期間および場所

下記の書類を取揃えて昭和56年1月5日(月)から昭和56年1月24日（土）までに必着するように東京都千代田区三崎町2－9－18（水道橋駅際）本学教務部へ提出すること。窓口に直接差出すものは，日曜・祝日を除き午前9時から午後4時まで。ただし土曜日は正午まで。**進学課程では受付けない。**

提出書類

(1) 入学願書（入学試験要項に綴込みのもの）
(2) 受験票（入学試験要項に綴込みのもの）
(3) 入学検定料（30,000円）
(4) 写真2枚 脱帽3分身，6カ月以内に撮影したもの(縦5cm×横4cm)。1枚は願書に他の1枚は受験票にのりづけすること。
(5) 出身学校長の調査書
(6) 受験票送付用封筒
　但し，受験票の返送を希望する者(400円切手貼付の上，他の書類と共に提出)。
(7) 健康診断書（入学試験要項に挿入のもの）
　但し，昭和54年3月以前の高校卒業者のみ
(8) 受験許可書
　但し，就職中の者，ないし他の学校に在学中の者。

4. 試験科目

(1) 数 学（数学Ⅰおよび数学ⅡB）
(2) 理 科（物理Ⅰ・Ⅱ，化学Ⅰ・Ⅱ，生物Ⅰ・Ⅱ）のうち2科目を試験場で選択すること
(3) 英 語（英語B）
(4) 国 語（現代国語）
(5) 小論文作成
(6) 適性試験

5. 試験期日と場所

(1) 学科試験・小論文作成・適性試験

（イ） 日時および時間割

2月1日(日)	10.00～11.00国語	11.30～12.50数学	13.50～15.10英語
2月2日(月)	10.00～12.00理科	13.00～14.20 小論文	14.50～15.50適性

2月1・2日は午前9時40分集合

(2) 面接試験・健康診断

（イ） 日時 2月3日(火)・4日(水)・5日(木)のうち大学の指定するいずれか1日の午前または午後（願書受付時受験票の裏面に記載指示する)。

(3) 場所 東京歯科大学進学課程（市川）

6. 合格者発表

2月10日（火）午後4時 専門課程。

7. 合格者注意事項

○入学金およびその他の学費を期限内に納めること。

入 学 金 2月20日（金）正午まで
歯学教育充実費，授業料，施設維持費，父兄会費など 2月28日（土）正午まで
納 入 方 法 東京歯科大学が指定する銀行口座（詳細は別に示す）に振込むこと。

8. 学　費

種　　類	納入額	納入期限
入学時にのみ納入するもの		
入　学　金	500,000円	2月20日(金)正午
歯学教育充実費	6,500,000円	
毎年度納入するもの		2月28日(土)正午
授　業　料	1,500,000円	
施設維持費	1,000,000円	
合　　計	9,500,000円	

(1) 学費については各種優遇制度がある。

(2) 入学を辞退する場合は，3月25日(水)までに申し出れば入学金以外の学費を返還する。

(3) 上記の学費のほかに，なお父兄会入会金・父兄会費・父兄会貸与共済基金負担金・父兄会傷害共済基金負担金・学生会入会金・学生会費（計52,000円）を要する。

9. 学　債

施設の整備充実等にあてるため「大学学債募集趣意書」により学債を発行する。詳細は合格後に配布する学債募集要項を参照されたい。

10. 参考事項

○宿舎の紹介

本学受験のため宿泊のあっせんを希望する者は，入学要項挿入の宿泊申込用紙に記入し，返信用封筒（50円切手貼布）と共に1月24日(土)までに進学課程宿泊あっせん係へ申込むこと。人員の制限があるので先着順とするから早めに申込むこと。

●所　在　地

東京歯科大学

専門課程　東京都千代田区三崎町2－9－18
〒101　電話（262）3421（代）

進学課程　千葉県市川市菅野4－18－7
〒272　電話 0473（24）1911(代)

◎**入学試験要項，東京歯科大学要覧**　ご入用の方は専門課程教務部宛 **1,000円**（送料を含む）を添えてお申し込み下されば郵送いたします。

抜去歯牙を捨てないで!!

国家試験用天然歯牙収集についてお願い

既に第197号でお願いしましたように，国家試験に使用します抜去歯牙の収集について，かさねてのお願いです。

国家試験に必要な天然歯は**上顎中切歯，上顎第1，第2小臼歯，上顎第1大臼歯**で，中切歯を左右2本，小大臼歯を並べていずれも石膏ブロック中に植立して試験に使用しますが，その入手は各種の要因から大変困難になっています。

抜去されました該当歯種はできるだけ固定液中に保管のうえ，学生にお渡し下さるか，御面倒でも，下記に御連絡下さるよう重ねてお願いいたします。

〒101　東京都千代田区三崎町2－9－18
東京歯科大学　学生課　宛
電話 03（262）3421

又，御送付願える場合には70%アルコール浸漬の状態でお送り下されば幸いです。

昭和56年度東京歯科大学歯科衛生士専門学校入学試験案内

1. 修業年限　2年

2. 募集人員　40名（女子）

3. 出願期日

昭和56年1月2日（月）から昭和56年2月18日（水）まで

4. 出願場所

東京都千代田区三崎町2－9－18　東京歯科大学教務課（国電水道橋駅際）

5. 出願手続

下記の書類に入学検定料20.000円を添えて提出すること。

提出書類

1. 入学願書(入学試験要項に綴じ込みのもの)
2. 健康診断証明書（入学試験要項に綴じ込みのもの）
3. 写真2枚（脱帽3分身，裏面に姓名記入，撮影後6ヵ月以内のもの，1枚は9cm×5.5cmに切って同封，もう1枚は4cm×3.5cmにして願書に糊づけすること）
4. 出身学校長の調査書

6. 試　験

A．学　科

①国語：現代国語　②数学：数学Ⅰ　③英語：英語B

B．課題作文

C．面　接

D．健康診断

7. 試験日の期日と場所

2月26日（木）	10：00～11：00国語	11：15～12：15数学	1：30～2：30英語	2：45～3：15作文
2月27日（金）	9：00～面接・健康診断		（26日は午前9時30分集合）	

試験はすべて東京都千代田区三崎町　東京歯科大学で行なう。

8. 合格者発表

2月28日（土）午後3時，その後の手続の詳細については受験場で指示する。

9. 入学時所要経費

区　分	経　費	備　考
入学金	50,000円	
授業料	年額 400,000円	
設備費	50,000円	
学生会費	5,000円	入会金を含む
合　計	505,000円	

所在地

東京都千代田区三崎町2－9－18

〒101　電話（03）262－3421

（内線）269，288

◎**入学試験要項**は東京歯科大学歯科衛生士専門学校教員室に **560円**（送料を含む）を添えてお申し込み下さい。

× × ×

北から南から

地域連合会のあり方

嶋中豊彦（昭和22年卒）

連合会の役割を考えよう……特に情報について，これは昭和55年6月14日当番県の岩手県支部による第17回東北地域連合会役員協議会並びに総会時の総会でのテーマであります。今年一月より東北各県支部長の推薦により地域より選出された本部同窓会の新米理事にとって正しくこのテーマこそ願ったりかなったりの私の為に企画された様なテーマでもありました。各県支部間相互の情報の伝達，本部同窓会と各県支部間とのパイプ役割的存在を如何にはたしていけるかは日頃頭を悩ませていた矢先のことなのでこのテーマには頭のさがる思いで感謝の念で一杯でした。役員協議会総会は岩手県支部長金子康雄先生の永年にわたる豊富な経験と卓越せる識見により企画せられ支部役員の方々の御熱心な運営により終始なごやかに進行されました。その時の模様は10月号同窓会々報支部のうごきの中で精細に報告されてありますので今回は地域連合会のあり方等について感じたところを若干申し述べてみたいと存じます。会議は綜合リーダーとして初体験の不馴れな私が議長席につかされ本部同窓会からはアドバイザーとして板垣正太郎副会長がなられ過去地域選出の理事の方々が5名又地域アドバイザーとして過去現在本部同窓会の評議員をなされた方々，そして各県支部長の先輩の方々からお一人お一人連合会の役割等について経験豊富な御意見を承りました。その後当日御出席された会員の方々から数多くの貴重な御意見を拝聴致した次第でございます。お一人お一人の御意見をこの欄で申し上げるのは紙面の関係上割愛させていただきますが，因みに地域連合会の会則によりますれば「地域内支部会員相互の親睦をはかり地域内支部の提携を密にし母校並びに同窓会本部の発展に寄与することを目的とする」とあります。当日の御意見の殆んどがこの目的遂行の為にいかなる方法で努力すべきかということにつきると思います。総会のあり方として従来の学会方式も結構ではあるがそればかりでなく他の方法としてスポーツでも結構又保健請求の身近かな問題でも結構だという御意見も出て次回から開催される連合会総会のあり方等について種々参考になりました。要はいかに魅力ある総会にし一人でも多くの会員に御参加いただくことがこの目的を遂行貫徹してゆく一つの所以だと思います。今回の連合会の企画運営に当って河邊会長からおかにおほめの御言葉をいただきましたが今後地域連合会のあり方として各地域連合会が如何に真剣にこの問題にとりくんでいかなければならないかということを拙い議長運営をやりながら痛感致した次第でございます。我が母校も創立90周年を迎え稲毛校舎の落成も間近に迫っています。このときに当り各地域連合会運営の成果が母校並びに同窓会の無限の発展につながってゆくものと信じて疑いません。各地域連合会の今後の御活躍を心から希望するものの一人でございます。

（東北地域選出　総務担当理事）

水道橋を懐かしむ

森　戸　弥　助（昭和15年卒）

中国地区同窓会の当番が島根県に廻って来て，理事が山口県の財間先生と代って，私が席を汚す様になったのはこの一月で，それ迄も息子が46年に東歯を出て千葉の柏に開業している関係で東京には時々出ていたものの学校にはトンと御無沙汰になっていたので，久し振りに学校に行った時は大粒の涙でも出かねない位に懐かしく，40年も前の事が昨日今日の事の様に思い出されて，どこかに自分の足跡でも残っている様な気持になって階段を上ったり降りたりしたものであった。

9月下旬の事だったと思う。県の歯科医師会事務所でたまたま顔を合せた同窓の3人，一人は大学2期の松本先生（島根県歯科医師会専務），と20年卒の板垣先生。丁度9月の理事会の後の事で理事会の様子や最近の東京のニュース等話した後で，いよいよ来年の4月頃から稲毛の校舎に移転がはじまる様子で，私等水道橋に学んだものは，東京歯科の学校名はそのままであるにしても，学校が移転する事は耐えられない淋しさだと話し合った事がある。

新校舎の広大さを説明すると松本先生曰く，自分達の当時でも大雨が降ると廊下はビショビショで大変だったですよ，移転は止むを得ないとしても何か心のより処が無くなる様で淋しいですね。

板垣先生も教室の暗いのには閉口しましたよね，でもやっぱりあの場所で何とかならないものだったでしょうか——と昔を懐かしんで居られた様である。

病院の学生控室の裏窓の一寸した出張りに立つと，秋の空気の澄んだ頃の夕方には富士の頂が残照の間に見えて，遠い故郷を思い出させてくれた事もあった。

あれから40年の歳月が過ぎて30余人の級友が大東亜戦争に散華したり，病魔に倒れたりして故人になってしまった。10月10日，芝の増上寺で追悼法要を営み，併せてプリンスホテルでお世話になった諸先生をお招きして謝恩会を開催，溝上先生が86才の御高齢をおして御出かけ頂いた事は何よりも有難かった。この事は何れ幹事から他の頁で報告されると思うので多くは書かない事にする。

現在の附属病院のある処は，柔道と剣道の道場と，相撲部の土俵のあった処で毎日部員が汗を流して練習に励んでいた事を懐かしく思い出す。然し後の卒業生の方には到底想像もつかない変り様だと思う。

新しい病院（今の水道橋の）を見ていると，当時のレントゲン室の主任でお世話になった三崎先生が，当地方に大学の基金募集に見えて，その時は既に病院の基礎打ちの最中であったが全国的に有名な出雲大社に参拝され，その神域の砂を持ち帰られて，基礎打ちのコンクリートの中に入れられたと言う事を聞いて，大変感激した事も懐かしい思い出の一つである。

あの威容の基礎に郷土の神域の土が——と思うにつけ，他の同窓よりも一入水道橋こそ我々の心のより所の様な気がして，今の病院は第二附属病院としてでも残して頂き度いと希る次第である。

（中国地域選出　共済担当理事）

× × ×

明日の臨床に

迅速撮影法

東京歯科大学歯科放射線学教室
黒柳錦也

口のなかにフィルムを入れられるのは，大変不愉快である。経験してみると解るのだが，口のなかに入れられたあの小さなデンタルフィルムの大きいこと，また角の痛いこと。それだけならよいが，上顎大臼歯部の撮影であれば呕気をもようすこともある。

このようなことから，素早くフィルムを挿入し撮影し，フイルムを取り出すことが出来れば，患者によろこばれると思うのだが，如何だろうか。

そのためには，撮影法の手順を少し変える必要がある。まず，自分が撮影しやすいように患者の体位を決める。X線装置のタイマーをセットして，大体の処にコーンを位置付ける。次いで，患者には，フィルムを押えるために，どの指でどうするかを数える。そして，速かに，且つ正確にフィルムを口に入れ撮影するのである。

しかし，フイルムを口に入れたあと，どうしてもコーンの方向を少し修正しなければならない。それは，二等分法でも，平行法でも，兎に角フイルム面が一つの基準になるから，口にフイルムを入れてからどうしても垂直角度付けの手直しが必要となる。ここでは二等分法について述べる。

上顎大臼歯と小臼歯は，反対側の内眥と大臼歯の歯冠を結んだ線に平行に開放型コーンの先端の縁をもっていく。これは，歯の長軸とフィルムとがなす角度の二等分線にほぼ一致する。このやり方は，正しい垂直角度付けより少し角度が大きくなる傾向がある。従って，また少し手直ししてもよい。

上顎犬歯では，コーンの縁を患者の反対側の外眥と咬頭を結んだ線に平行にする。

上下顎切歯では，歯の長軸が様々で解剖学的基準点がとれないので，コーンの縁をフィルムに平行にする。そして，これから約15°角度を減らす（15°は歯の長軸とフイルムのなす角度の約$^1/_2$に相当する。）

下顎臼歯部は切歯部と同じ様にするが，わずかに2～3°少なくするだけである。

このように行えば，角度付けは容易に行えるが，もう一つの方法として，照射時間を短くすると，患者が不快のあまり呕気をもようしても事なきを得ることが出来る。

照射時間は，フィルムの感度によって決まるので，高感度フィルムを用いるとよい。一般に出廻っている歯科用フィルムでも，国産と輸入ものとでは，全く感度に差がある。もし，国産のものを使っているのであれば，輸入ものとすると照射時間は半分になる。ロングコーンを使っていて，ショートコーンの予備があれば，交換することによっても照射時間を短くできる。放射線の強さは，距離の二乗に逆比例するから，焦点フィルム間距離が半分になれば，照射時間は$^1/_4$ですむ。

また，管電流，管電圧が可変であれば，管電流10mAを15mAにすると1秒が$^2/_3$秒になる。管電圧を増やすと波長が短く，透過力が大きくなる。13～15kVpの増加により，照射時間は$^1/_2$になる。

このように迅速撮影法を行うことは，単に患者の不快感を少なくするだけでなく，患者が動いたために生じるブレによる再撮影を少なくする。このことは，患者に無意味なX線被曝をさせないことに通じる。これらのことを試みてみられたらどうか。お勧めする次第である。

提供　東京地域支部連合会学術部

支部のうごき

北陸地域支部連合会

去る10月18日（土）19日（日）の両日に亘り，昭和55年度北陸三県連合同窓会総会を石川県山代温泉，山下家に於て開催され，本部より伊丹一男同窓会副会長，中久喜喬理事，学長代理として羽賀通夫教授が御来県され，出席者五十数名に及び盛大に挙行されました。

先づ石川県副支部長菊地皓一先生の御挨拶が有り，続いて伊丹副会長，中久喜理事より，関口，井上，浅井各議員の選挙の際の御支援の御礼を述べられ又，学校の近況等報告されました。

次に羽賀教授が松宮学長のテープをかけられ，御挨拶を拝聴し，千葉校舎建設の現況並びにスライドによる御懇切なる説明を聞き，その内容設備等に感心して聞き入りました。

その後，来年度当番県の福井県支部長島田啓三郎先生より御挨拶があって，総会を終了しました。

続いて懇親会に入り，石川県の色々なアトラクションの心遣いに感謝し，小原福井県歯科医師会長の指揮により校歌を斉唱して盛会裡に終了しました。（白崎記）

四国地域支部連合会開催

昭和55年度の四国地域支部連合会は徳島県の当番で去る10月18日，徳島市パークホテルに於て，大学より松宮学長，瀬端教授，同窓会本部より安嶋副会長，杉山理事を来賓にむかえ開催された。

同窓会に先立ち瀬端教授より，『本校における卒後研修と最近の矯正』と題し，講演をしていただいた。矯正専門医の養成と，矯正治療の予後の判定という内容でなつかしい水道橋のスライドを交えての約1時間の講演であった。又，建築中の稲毛校舎のスライドも拝見できた。続いて会務に移り，参議院選挙，大学新校舎建築，山本義茂先生の学術会議会員への立候補等についての報告，依頼があった。徳島県支部では55年度より，猪子寿一先生(秋の叙勲褒章で，藍綬褒章を受けられた)より，米津武之助先生に支部長が交代し15年間勤められた猪子先生に徳島県支部会員より感謝状が贈られた。最後に本部同窓会理事に新任された馬嶋四国地区連合会会長より乾杯の音頭があり宴会に移った。余興として，徳島でも普段はあまりみられなくなった，阿波人形浄瑠璃『傾国阿波の鳴

門』の聞かせどころの一場面の披露もあった。

最後に香川県の塩田先生より来年の当番県として招待の御案内があり，帰路の時間の関係上夕方6時には閉会となった。　（宮井　義博　記）

秋　田　県　支　部

去る10月18日（土）午後3時より，本年度の学会を秋田市の「杉のや」にて開催しました。講師に本県出身，現在山形大医学部教授の吉沢信夫先生をお願いしました。

吉沢先生は母校卒業後長らく市川病院に御勤務なされ，今年2月山形大学に赴任されました。演題は「歯槽堤形成術について。特に外来において局麻下に行う方法について」

多数のスライドを駆使し，先生の長年に亘る御研究，臨床経験に基いた御講演には会員一同感服致し，大いに勉強した次第です。

学会終了後懇親会を盛大に開催しました。

出席者＝写真下段向って左より小林昭雄，高橋一夫，黒沢秀斎，吉沢信夫教授，中村実支部長，武田一，山田寛，五味武一，中段中村嘉夫，中村勤，小川陽市，中村正，野呂田正一，吉沢清忠，太田晃，上段中村哲久，駒ヶ嶺和彦，山内静，寺岡洋一，高橋昭一。　以　上

埼　玉　県　支　部

東京歯科大学同窓会埼玉県支部では去る10月19日（日）午後3時半より伊東温泉伊東園ホテルに於て昭和54年度の総会を開催しました。来賓として母校学長代理として見明清教授，同窓会長代理として阿部鋭夫副会長，山本義茂名誉教授が御来会下さった。又，支部からは増田悦蔵支部長をはじめ37名の会員が出席した。駒橋武副支部長の司会で始まり，物故会員に対して黙祷をし続いて増田支部長の挨拶並びに来賓の祝辞をいただいた。さらに荒井栄先生を座長に選出し議事に入り，昭和54年度会務報告並びに54年度決算報告がされ承認された。続いて役員改選が行なわれ選考委員が選出され別室にて慎重に審議した結果，長年御尽力下さった増田悦蔵支部長に代って新たに昭和14年卒業の加島忠道先生が選出され全員一致で承認されました。其の他会則の一部変更が行われた。途中見明教授より稲毛の新校舎建設問題についてスライドを使って現状報告があった。新校舎及び病院は56年6月に完成し同年9月1日より授業並びに臨床が始まるとの説明があった。午後5時井原副支部長の閉会の辞で無事総会が終了した。

続いて6時より懇親会が行なわれ新らたに参議院議員関口恵造夫人をお迎えして夜の更けるまで歓談し懇親の実を揚げることが出来た。

出席者（順不同，敬称略）

増田，井原，野上，荒井，駒橋，上平，高柳，大塚，中野，相田，斉藤，加島，中島，金子，中村，並木，渡辺，本間，島田，稲生，氏家，延島，海野，山崎，戸内，板倉，増田紀，福田，小杉，粟生田，榎本，佐川，柴田，今井，酒井，小幡，佐藤。　　（板倉　記）

×　　×　　×

クラス会だより

東　四　会

大正４年卒

後列左より井合令嬢，井原夫人，井原令嬢，竹内令嬢，斉藤久氏令妹，浅野夫人
中列左より井合夫人，成川夫人，故阪野雪雄夫人，ゆきさん，故斉藤久氏夫人正子さん
前列左より井合関三氏，成川隆明氏，井原協一氏，竹内武幹氏，浅野豊氏
斉藤光蔵氏撮影

私たち東四会は，若干の例外を除いて，年１回の例会兼旅行会を重ねて，今年(55年)は卒後65年目のクラス会になった。

最近10年を振り返って見ると，昭和45年，出雲市を中心に，46年，箱根，鎌倉。47年，南房鴨川。48年，下関長府。49年，箕面市。50年，舞子，六甲。51年，休会。52年，京都。53年，唐津と九州一巡。54年，鳥羽二見。

そして55年は，久しぶりに東京で開催という事になった。昨年鳥羽のホテルでのクラス会で，斉藤正子さん（斉藤　久氏夫人）が幹事役を引受けられたからである。

６月４日午後，やや早目にと思って会場目黒雅叙園に行ったら，既に斉藤夫人，ご養子光蔵氏，鎌倉の成川氏夫妻，それに出雲市の井原氏夫妻令嬢等が待って居られた。

開催直前まで出席の予定であった佐賀の栗林真吾氏，新宮市の小倉信男氏が健康上の都合で急に欠席の連絡があった由残念至極。

結局同期５名家族等で16名となった。各自割当の部屋に分れてくつろぐ。雅叙園は以前二度ほど来たことはあるが，両度共知人の結婚式の折とて，せわしなく過ごした記憶のみが残っている。深山を思わせる庭園の新緑は都内とはおもえぬ眺めである。

入浴してから一同晩餐会の室に並ぶ。見渡せばズラリと揃った16名。それに栗林，小倉，常連の岡本，續，片山の諸氏と家族が出席すれば23，4名になるのだがなァと胸の中で考える。

先づ成川隆明氏が，永年鍛えた謡曲「鶴亀」の披露があったが，そのあとは，いつものように派手に唄も出でず，其代り女子群による談話がなかなか盛んで，遂には場所を成川氏の部屋に移して，四方山の話が続いて深更に及んだ。

翌６月５日，一同朝食の座に就く。幹事役斉藤光蔵氏により，改めて逝去級友のため黙祷を捧げた後，日程の説明があった。このまま今日の日程を終り，午後散り散りに別れては，あんまりアッケないと私は考えて，突然立って，言った。

「私の隣りにいらっしゃる竹内先生は88才，私も88才です。同じ88才でも，竹内先生は卒業後一度も病気をした事がないそうですが，私は２度も３度も死線を越えて88才になりました。先般教友たちが私の為に米寿の祝賀会を開いてくれましたが，事前に私には秘密に準備を進めてくれましたので，当日は意外な顔ぶれの出席者でびっくりしました。その時作った短歌を披露し，一首を朗詠します。ＳＳとは日曜学校のこと。私は36年間日

曜学校教師を勤めました」

○ＳＳにセーラー服着て通いたる
きぬちゃんも見ゆ還暦すぎて

ヘタクソな私の朗詠のあと，旭川の井合閑三氏が，声も朗々と素敵な詩吟を演じた。私は「しまった。やらなければよかった」と後悔した。あとで鈴木敬止郎氏から，井合氏は詩吟の先生で，沢山のお弟子があるという通信を受けてなるほどと思った。

そのあとを斉藤正子さん，神木房子さんとが一緒にやはり詩吟をきかせてくれたが，昨年鳥羽の東四会で演じたよりも遙かな上達ぶりであった。

阪野ゆきさん（阪野雪雄氏夫人）が，先生歿後の心境や生活を語られ，井合荻子さん井合閑三夫人が日常生活実験談を発表するなどなかなか談論風発賑々しかった。

その間，端然として座って居られる井原協一氏は，昭和26年島根県書道会結成以来，今日まで会長として書道のみならず，その教養，識見を以て多くの人々から敬慕され居り，さすがに大人としての風格を備えて居られる。氏は号を自琢と称し，今年島根県書道人が一つになって，氏の長寿を祝い，永年の業績と指教に感謝する為め「井原自琢先生賀寿書作展」を開催し盛況を極めたとの由。私もその書作展会録を頂戴，なお井上活泉牧師作の漢詩を半折二枚揮毫して頂いた。

さて，ここで来年の東四会をどうするかという問題になり，異口同音に「岡崎の竹内武幹氏」に声がかかり，同氏及び同伴の令嬢の快諾する処となり，56年の東四会は岡崎市に決定した。

このあと雅叙園内の案内で10時まで過ごした。数多い部屋も長い廊下も，明治，大正，昭和に渉る第一線の画伯たちの絵画の大作や彫刻で，倒底2時間位では素通りより外はないが，特に私の眼に留ったのは，私の町の出身の吉田登穀画伯とその師松林桂月のもののある竹林の間であった。説明はきのうお茶を持って来たおばさんだったが，年に似合わぬよく徹る声で上手な説明だった。

雅叙園にサヨナラして，バスは池袋サンシャイン着。エレベーターは，一瞬間に私たちを六十階の最上階に運ぶ。平気な顔はしていても，みんな九十才に近い地方の老人。何もかも驚きである。最上階の窓から窓へと移りながら眺める遠近の景，それも晴れてる時は100キロの先も見えるというのも驚きだ。ぐるぐる廻ってるうちに，家族別にみんな腰かけて思い思いに何か飲んでいる。そこで私たちふたりも一卓に陣取ってコーヒーを注文した。

はつ夏の六十階のテーブルにて
コーヒーはうまし夫婦して啜る

一同は又バスを走らせて，上野は鷗外荘に着く。ここで緩くりと昼飯を食べながら語り合った。この家は，森鷗外がはじめて結婚した当時に住んだ処で，家はその当時のまま。別館もあって其方は後に作ったホテル式のものだとの事。鷗外は，私の住む大原町に別荘を作って「かもめ荘」と名づけ，私の親戚の関彦太郎が何かと世話をしてあげた関係もあって親近感を抱いて居り，その起居した部屋で二，三時間を過ごした感慨も浅くない。

私たちは，又バスにゆられて東京駅まで送られ，来年を約して解散した。

今回のクラス会には，周到な準備と終始至れり尽せりのお世話をして下さった斉藤ご両所ならびに相談役格の成川氏に厚く感謝申上げる次第であります。

× × ×

栗林真吾氏は，クラス会に出席する為に，毎日歩行練習をしたり，自分で背広を新調したりしていたが，会の開催直前に入院，そのまま再起ならず，七月十一日に逝去されたとの報に接し，愕然とした。胆道癌であったという。今後精神薄弱児施設めぐみ園は令嬢ミチさんが，精神薄弱者（成人）援護施設富士学園は恒俊氏が，それぞれ長となり，八十才のミサ夫人が，めぐみ厚生センター理事長に就任，歯科医でもある夫人は，健康の続くかぎり歯科医院をも継続するという事である。

思い起す昨年鳥羽でのクラス会，あの真珠島御木本翁銅像前のベンチで，栗林氏と私と私の家内の三人で語り合ったのが，地上に於ける最後の交りであった。ああ……。挽歌一首

泣きぬれし胸の奥がゆ吾はおらぶ
真吾先生ハレルヤ，ハレルヤ

（浅野豊　記）

更　始　会

昭和３年卒

昨年同様秋の一泊旅行は好天に恵まれ10月23日東京駅北口に会員集会豪華バスにて中央高速経由高尾の山間に越中五箇山の合掌造りで有名な「うかい鳥山」にて野鳥山菜料理の醐醍味を味わい厚木，小田原をへて旧道ぞいの奥箱根湯本に一泊いつも乍らの田島君の奇術，黒田君の美声に酔う。翌朝箱根寄木会館にて夫々散財芦の湖畔にて初雪の富士を観賞し乙女峠を過ぎ猪頭公園内の鱒料理を堪能する。帰路白糸の滝を経て一路東京へ。

参加者：阿部，秋山，清宮，田島，田沢，黒田，森下，三浦，岡本，鹿島，千野，西山，清水。

来年の３泊４日の京都の総会旅行は５月22日～25日の予定多数御参加下さい。次に本年文化の日に埼玉の清宮君が自治省より勲四等瑞宝章を授章されました，衷心よりお嬉び申し上げます。益々地域社会に御奉仕の程祈ります。来年総会にて祝賀の宴を催します。

次に第８回クラス有志による海外旅行は８月10日頃よりオランダ，ドイツ，スイス，パリ方面へ御予定下さい。　（清水　記）

七　星　会

昭和11年卒

昭和55年度の七星会総会は10月12日より10月15日迄３泊４日の予定で山口県引受で開催された。参加者の都合もあってＡコースは３泊４日，Ｂコースは２泊３日という組合せにし，小郡新幹線駅前の懐かしい顔々々が一堂に会すると，世話人も良く集まって呉れたなあと，お世話の苦労よりも先に友情の有難味の方が胸にぢんと感じられる。色々計画を立て関係した東急観光社に相当厳しいハッパを掛けたが，どうやら落第点は免がれたらしく，先づは良かったと胸をなでおろす。12日夜は湯田温泉に一泊。翌日萩市内観光に始まって青海島観光船にて海上より奇岩を見物したが台風19号の接近で海は大荒れ。中には船酔で青くなった人もあったが流石北海道の梶尾君は大揺れの船で海とはこんなものだよ，之でなければ船に乗った気がしないと宣うた。案の定内海の波静かな処ではぐうぐう寝てしまったのには恐れ入った。当日夜は長門湯本温泉に第２日目の宿をとる。此の夜はＢコースの最後の宴でもあるので総会を開き記念写真を撮る。御夫人は必ず御主人の隣に揃ぶ事を条件に撮影した。後々の判定に困るからである。

14日は台風の余波で風が少々強いが雨は大した事はなく秋吉台秋芳洞山口市内観光を行う。此の頃から天気も晴れて快適となったがＢコース班と

は小郡駅前でお別れである。而し48人のAコース班は更に下関マリンホテル迄バスにて直行する。下関は最後の酒宴でもあるので閉会の時刻を定めず飲み放題としたが，吾々の年配でも酒豪は大勢居るものである，頼もしき限りである。翌15日は下関観光で，功山寺走間神宮火の山展服関門海峡の遊覧船からの見物となったが台風一過の秋空で快適な展望が楽しめた。予定通り新下関駅で来年の再会を約し皆元気に解散した。来年の四国総会が予定されている。今年を上廻る参加者を期待している。最後に終始世話係を援助して呉れた阿部君に感謝する。　　（唐木，伊藤　記）

仁　蜂　会

昭和15年卒

卒業40周年記念行事（10月11～12日）

◆**慰 霊 祭**……母校より溝上名誉教授をお迎えして，今はなき42名の級友の慰霊を芝増上寺本堂で86名出席の下に極めて厳粛に行ないました。（司会　水村七五三彦君）

◆**謝 恩 会**……母校より溝上，松井，山本，近藤4先生を迎えて，東京プリンスホテルで記念祝賀をかねて和やかかつ盛大なパーティが持たれました。松宮学長，河邊同窓会長，北村勝衛，正木正先生からお祝いのお通知を頂き有難う御座いました。（司会　堤）

なお，記念品は級友青木七郎君揮毫の「仁蜂」

の金属焼付けの書額を約100本準備，恩師に贈呈した余りは各会員に目下配付中です。

◆**記念祝宴**……熱海梅園ホテルを借切って86名二台のバスで東京から直行し，秋の一夜を心おきなく語り合いました。（司会　高田輝雄君）

◆**記 念 誌**……原稿は着々集り，現在75名の個人原稿と12編の想い出の記の外写真が多数集まっております。未提出の方々の原稿を手分けして集めています。写真も同様，御協力をお願いします。今年中に発刊したいと編輯部は手グスネ引いて待っている訳です。

実行委員長愛知君を始め委員の皆さんの積極的な協力で立派な「仁蜂」40年誌の誕生を期待しましょう。（堤　記）

喜悲交々の人生です。

浅川正吾君が9月6日。秋庭美津男君が10月25日ご看病も空しく他界されました。謹しんで哀悼の意を表します。

秋庭君を偲ぶ

土岐良春

鳥取の秋庭君の急逝に愕然とした。一度はオペして良くなり，我々の会に出席してくれていたのに。此んどの40周年行事の事で電話連絡した時，再度入院された由，奥さんからお聞きしたが欠席されていたのだ。今此んな悲報に接するとは。

思えば彼は律儀な人だった。あまり多言な人ではなかったが，常に静かな心のきれいな男であった。其れが又人に好かれる所以でもあった。以前はよく呑んだ。木村君，村田君，中尾君，小出君等と同じ位強い方だったと思う。冬が訪れると「鳥取のカニ料理喰べに来んか」と誘ってくれた。我々は，鳥取と云へば秋庭。秋庭と云へばカニ料理という位彼に世話になって，とっとことっとこ鳥取へ出掛けたものだった。此んども又そんな機会をもと思っていたのに。

彼は写真をよくした。僕が編集した仁蜂会のアルバムの殆んどは，津田君と秋庭君の撮ってくれたものである。

嗚呼!!　秋庭君。君はいい奴だった。だがだが逝くのは早すぎる。なぜもっと我々とつきあわないんだ。秋庭君!!　安らかに眠ってくれ給え。

（昭和55年10月26日記）

燦　志　会

昭和16年卒

本年の総会は，みちのくで開催。10月29日正午，仙台東急ホテルに集合して，瑞巌寺，奥松島をみて秋保温泉に一泊。

翌30日は，厳美渓とげいび渓の舟下り，毛越寺，中尊寺を参拝して花巻温泉の佳松園で最後の宿をとりました。懇親会に先立ち総会を行い本年度物故された北海道の小口哲司君の冥福を祈り，続いてクラス会長は松本宜洞現会長の再任，クラス評議員も天野博徳君の留任をお願いし，卒業40周年に当たる明年のクラス会総会は，濠州，ニュージーランドの観光を兼ねて行うことを決めて，和かな懇親会にはいりました。赤松の林の中に離れ家風に点在する，純和風数寄屋造りのこの宿は，閑静で地方色豊かな鹿踊りと共に，今回の旅情を慰めてくれました。

みちのくの今回の旅で，仙台の街造りの立派さと，駅前から続く青葉通りの欅並木の立派さは，さすが森の都といわれるにふさわしいものであると感嘆致しましたし，げいび渓の舟下りでは，両側の絶壁にこだまする美しい舟唄にききほれて，暫し浮世のことを忘れさせてくれました。

また中尊寺では，世に「人肌の大日如来」と親しまれ尊ばれている秘仏，「一字金輪仏」が，藤原清衡公850年特別大祭を記念してご開帳されており，親しく拝観することが出来たことは大変幸せでした。

今回の旅行の幹事さんは会津の水口栄君と仙台の高橋文平君に，また細部について宮城県歯副会長の斉藤昇先生にも一方ならぬお骨折を頂きました。お蔭で今年も数々の楽しい想い出を残して旅を終ることが出来ました厚くお礼を申し上げます。

出席者（同伴組）

天野博徳，井田実，井上良和，岩崎貞彦，岩本正三，猪子寿一，江副哲郎，大内憲一，大久保義勝，太田稔，荻原貞雄，大滝入海，安藤正，栗田哲次，佐和重美，柴田光雄，鈴木省三，高宮昌美，中西伯男，入賀益則，浜松繁，久松正章，堀内鎮男，松本宜洞，水口栄，脇田進，矢島敏夫。

単身組

雨宮彦一，大久保忠則，河内次男，佐藤心一，酒井辨二郎，高橋文平，名波佐智夫，長瀬宰治，平岡光一。　　以上63名（順不同）

（安藤　記）

堅　久　会　　昭和16年12月卒

昭和55年の旅行は，山形県在住の小林与一君と遠藤亨君の世話で，10月11日午前11時に天童温泉に集合し，２台の貸切バスで宝珠山立石寺に向う。沿道には赤く色染めたリンゴが秋の光に輝いていたが，天候は次第にくずれてきた。

年輩組なので奥の院には登らず，根本中堂の不滅の法燈を見学参拝し，再び天童に戻り昼食をして蔵王山に向った。

蔵王山頂のお釜は雨と霧のために，全く見ることができず残念であった。下登の途中で山形県歯会長の経営している牧場レストランで，採りたての牛乳やブドウなどの接待を受けて，上山温泉の村尾旅館に着く，宴に入る前に記念写真を撮る。

あいにくの雨降る中の河原で，米沢藩時代の火縄銃の実演を見る。銃声は河原にこだまする。米沢市の上杉家の廟所，上杉記念館で殿様への献膳料理の昼食をとり，白布温泉を通り西吾妻スカイバレーを越え，五色沼を寸見し磐梯熱海温泉に着く。

級友の日歯会長山崎数男君と東北歯科大学長渡辺教授も宴に出席され，遠藤君の撮影した白猿の生態と畑君の昨年の九州旅行の８ミリを見る。全員で校歌を唱い第二夜を終る。翌朝は秋晴になった宿をあとに，来年の旅行の再会を念じつつ故郷に別れ行く。ご健勝を祈ります。

（参加者）〔同伴〕橋本，畑，早川，八田，伊藤(嵩)，石川，石丸，木村(幹)，小出，小林(与)，金山，水野，小川渉，大野，荻原，佐藤摩，清水(由)，鈴木(一)，石，田中，若林，山崎(吉)，柳沢，湯本，〔単身〕遠藤，木村(哲)，小川(至)，大島，大川，荻野，田口，高野，平，滝，山崎(数)，山田(泰)，高橋。　　（高橋勝哉記）

一　志　会　　昭和17年９月卒

一志会「阿波踊り」参加記

昭和55年度一志会旅行は徳島市在住の井上(朋)君の御世話で「阿波踊り」を中心に高松徳島で行われた。

８月14日(木) 15時高松グランドホテルに集合，レギュラーメンバーに久し振りの小原君の参加を得て総勢26名先づは夕食の前夜祭が開幕，神田幹事長の挨拶，最遠来の野口(多)君の音頭で乾杯，夫々の近況報告，岸日歯理事，関口同窓会理事の挨拶が華を添え夫人達を交えての和気あいあいの団欒のひとときを過す。折から「高松おどり」も最終日とて囃子の音も一段と高く一同見物に出かける。

翌15日（金）はデラバスが９時ホテルを出発，栗林公園の見事な庭を観賞，屋島に源平合戦の往時を偲び眼下に檀の浦を望みオリーブ園を眺め乍

ら屋島スカイラインを下り，途中引田にて昼食の後フリーガイド谷上八重子嬢？の名調子に乗って一路徳島へ。四国三郎吉野川を渡るとバスは市内に入る阿波踊り選抜大会々場の郷土文化会館に着く，有名連の素晴らしい競演に魅せられた後，降り出した雷雨の中をホテル千秋閣に到着す。一ト風呂浴びて一志連揃いのユカタに身を固め夫人達は鳥追い姿も艶やかに雨上りの前庭に勢揃い，井上君配下の連長より踊りの手解きを受けリハーサルに自信をつける。夕食を早々にして愈々本番，見物客の待つ桟敷へ繰出す。出発点には幾組もの連が待機して居り次々に出発して行く。我々一志連は徳島市歯科医師会の歯科連に組入れられた，暫らく待つ程に愈々出発だ。夫人達を前に出し男組は最後尾に続く，沿道の両側は見物客で一杯。

鉦や太鼓の囃子につれて前に合せて踊る，上手も下手もない遅れないように夢中に踊り続けた。「踊る阿呆に見る阿呆，同じ阿呆なら踊らな損々」の唄の文句を地で行って踊りまくった次第です。連長より熱演賞や参加賞を頂戴して一同大喜びだった。連長であり会長の同窓，猪子先生の格別の御配慮に厚く御礼を申し上げます。

16日（土）9時30分再びバスにて出発，有名な大谷焼窯元に立寄り鳴門にて昼食，亀浦港より観潮船に乗り名高い鳴門うず潮を見物して鳴門スカイラインを経て16時振り出しの高松駅に無事到着，次回の再会を約して解散した。井上君御夫妻には面倒な踊りの手配など一家をあげて御骨折り頂き大変楽しい旅行をすることが出来て感謝に堪えません有難うございました。尚，次回は小原君のお世話で福井県で開催する予定です。

（神田　記）

参加者（同伴）藤原，佐野，藤田(彦)，大野(喜)，坂，飯島，白井，井上朋，市島。（単独）関口，岸，三村，小原，野口(多)，野口(春)，山崎，神田。

五十一期会

昭和20年9月卒

1)　誕生日祝（12月生と追加）

12月：4日稲葉君，12日田村君，17日出井君，23日片山君，24日岡(義)君，28日山田君，なお浅利君，石岡君，岩淵君，小沢君，小野君，川本君，久保倉君，國米君，平山(輝)君，前田君，高村君，林君，パチョン君，ウエン君。

上記の学友諸兄おめでとう!!　いついつまでも元気でおすこやかであります様に。乾盃と拍手。

以上で一年間続いた誕生日祝が終りました。147名の学友をあえて掲載したのは以前から今後段々と欠けてゆくので全員の名前をのせようという提案があり今回時期と機会を得て掲載しました。お互いに天命を知る年代のなかばを無事息災ですごしてほしいと念願した所謂厄払いとガッチリ手に手をつないだ友の和を充実させようという意図からでした。親睦と友好を深めたものと思い

ます。

2） 学友金子甲子三君の消息

金子君が4月下旬より糖尿病と肺結核で浜松市の聖隷病院に入院され目下加療中で療養生活を継続中の由，早速51期会として御見舞を送付しました。どうか静養に専念されて闘病生活を余儀なくされている金子君の一日も早く快方にむかわれることを心から祈念したい（10月10日退院療養中）。

3） 本年度51期会例会の報告

林間に酒を温めて紅葉を焚くとかや，10月24日から26日に渉る2泊3日の行程で本年の卓尾を飾る郡山磐梯会津旅行が東北歯大副学長奥村君のお世話で五十華会と合同で開催された。総員33名。一力の宴に渡辺学長が錦上花をそえ学生時代の頼みある中の酒宴がつづく，万木紅葉の眺望と和して実に楽しい旅行でした。最後に校歌を合唱し来年の北陸総会での再会を期待して無事終了。渓流のせせらぎをききながら飯坂の夜を更けてゆく。色々準備万端つとめてくれた奥村君に厚く御礼を申上げます。今年は悲喜こもごもの一年でした。全国学友諸兄のご健勝とご多幸を祈り良き新年を迎えられんことを。（鶴岡　記）

いづみ会

昭和23年卒

昭和55年10月24・25・26日の2泊3日のいづみ会総会が，今年は神奈川いづみ会の主催で盛大に開催されました。昨年6月北海道総会にて神奈川の当番が決定されるや，源内君をチーフとしてまもなく準備に入り，一年有余の月日をかけて入念な計画を立てました。その間準備委員会の開催実に10数回，いづみ会本部幹事もその努力と熱心さに脱帽する思いでした。かくて当日24日夕第1日目宿泊地湯河原天野屋旅館に，北から南から続々と旧友が集りました。近来稀なる参加者の数です。延参加者76名，御夫妻の参加組12を数えました。総会に先立ちいづみ会ゴルフコンペは，同窓会本部恒例のコンペに同時参加となり，トップのスタートにて3組12名にて競いました。優勝は兵庫の有馬君，ハンデ25の7アンダーでした。おめでとう。2日目は朝から雨でしたが，観光バスに乗り込む頃より小やみとなりましたが箱根観光を切りつめて鎌倉に向うことにしました。途中大磯プリンスホテルにて昼食，ここにてゴルフコンペの表彰も行いました。この頃より雨雲はどんどん去り，鎌倉に向う江の島あたりはうす日もさすよき日となってきました。大仏，建長寺，鶴ヶ岡八幡宮を見学，地元の連中や東京の連中も近くにいながら久しぶりの寺めぐりとなりました。今宵は横浜の泊り，山下公園際のザ・ホテルヨコハマ，晩サンは中華の華正楼，中々に結構な味でした。二次会の設定も正規のコースに入れ，ナイトクラブ，クリフサイド，恩師松井隆弘先生も中々御満悦の態でありました。夜の更くるも知らずホテルの窓からながめる港の夜景，諸兄の印象は如何な

ものでしたでしょうか。最後の日曜日，ねむい目をこすりバスに乗り込み，これはかけぬけの観光，外人墓地，港のみえる丘公園，そしてお別れの昼食は瀬里奈でのしやぶしやぶ，来年の富山での再会を約しつつ散会しました。

来年34回総会は富山の柚木君の御骨折りで開催致します，多数の参加をお待ちしています。

（野村　記）

いづみ会浅井後援会よりのお報らせ

昨年末と本年6月の2回の選挙で，クラスメイトである浅井君はそれぞれ10万票以上を集めて高位当選しましたが，級友諸兄の温かい助力が一丸となり多大の貢献をすることが出来ました。ここに厚く御礼申し上げます。

湯河原で行われたいづみ会総会に次いで，いづみ会浅井後援会総会が行われ，次のような報告と会費の件が決まりましたのでおしらせします。

1. 昨年6月は特別会費を65名の諸兄に拠出して頂きました。
2. 会費は55年度より一率年5千円とする。

今まで一口2千円で何口でもということで各人マチマチでしたが，一括することにしました。ついては今年のクラス会に出席しなかった後援会員の諸兄の御手許に会費請求が届きましたときはよろしくお願いします。　（三宅　記）

い　と　し　会　　昭和24年卒

31回総会は9月13日～15日と2泊3日，新潟佐渡旅行を兼ねて開催されました。

前日まで荒れ模様の天候とは裏腹に微風快晴の素晴しい小春日和に恵まれ私達は子供の様にはしゃぎ乍ら越後，佐渡の情緒をたっぷり味わうことが出来ました。地元の諸君のお骨折り特に目黒，皆川両君の御尽力に深謝致します。

13日ホテルのイタリヤ軒に於て総会がもたれ諸事項の報告が承認されてから下記の事項が決議されました。

① 級会費は従来の年額1,000円を2,000円とする。
② 次年度の総会開催地は千葉で行ない日程場所方法等は幹事並びに地元の諸君に一任する。
③ 幹事の任期満了に伴ない級代表評議員及び代表幹事に森滋君を推し他の幹事は森君を中心に選任する。
④ 従来確然としなかった会計年度を同窓会に準じて1月1日～12月31日とする。　以上

総会終了後行形亭（イオナリヤ）という新潟最古？の由緒ある料亭で懇親会が開かれました。

パーティーには先輩の同窓会支部長岡田一郎先生も参列されましたが，この6月熾烈な選挙戦で実に102万余票の空前の支持票を得て見事千葉地方区から参議院議員に当選した我等のアイドル井上裕君が新しい議員バッヂも燦然と晴姿をみせ例の如く堂に入った挨拶と得意の喉を披露して一段と会を盛り上げてくれました。（我等のホープ井上裕君よ，今後益々の御活躍と発展を心から祈念します。）

多くの級友諸君はそれぞれ美人の愛妻共々列席されましたが特に旧姓山本トヨ子さんは御主人の村尾惇君と共に卒業後始めて顔を見せ本当に懐しく楽しい語らいを交すことが出来ました。

宴会は越後の地酒を汲み交し近来私などには殆どお目にかかれない様な美人の芸者さんの手踊り佐渡おけさや相川音頭等を観賞し夜の更けるのも忘れて談笑しました。

翌日はジェットフオイルで佐渡へ向いバスガイドの流調な説明を耳に，すっかり稔った田圃道などをドライブして佐渡の名所旧跡を探索しました。史上に見聞する高貴な方々の悲運の涙と古しへの人の世の哀れをいたく感じ現世に生を享けた幸せを噛みしめ乍らの旅でした。特に金山の廃坑の見学にはそこに働かされた牛馬以上の強労働を強いられた罪人（恐らく現代では大部分の人が無

罪になったかも知れないであろうと思われる人々）の悲惨な運命に胸のつまる思いがしました。

かくて3日間の楽しい旅を無事終り再会を約して散解しましたが，今回の級会の総括責任者として大変御骨折りいただいた長井代表幹事が御父君の急逝のため残念乍ら出席出来ずお気の毒でした。御父君の御冥福を祈ると共に同君のお骨折りに深謝致します。又長い間，級代表幹事，級代表評議員として御尽力下さった同君に重ねて御礼申し上げ御報告と致します。　（鈴木義政記）

級会・新潟総会出席者（44名）（順不同）

同伴（13組）

皆川明，三浦光雄，伊藤竜太郎，村尾惇，目黒義雄，田中省順，白川尚，森滋，斉藤久，和田周志，杉山邦夫，熱田俊之助，吉田邦男。

会員のみ

加藤正照，林昭男，財部正郎，鈴木義政，杉之内芳郎，小野田実，青木邦夫，森永太悟，尾崎博，三島平左衛門，長東長雄，北村実雄，川崎義典，早瀬明夫，梅津了，徳山貞長，井上裕，大渓良夫。

千　秋　会

昭和27年卒

東京で1年おきに総会を開催しているが，どうも人気があまり良くないので幹事一同頭を痛めていた。ところが本年は，多くの級友が出席され，懐しい思い出に巡り合うことができ近来にない盛会となったのでほっと安堵したところである。

昭和55年11月8日（土）午後4時30分東京赤坂「満ん賀ん」で第29回千秋会総会・講演会・懇親会を開催した。既に案内状にも記載した通り会場となった高級料亭満ん賀んは政財界の要人が屢会合し，国の政治・経済を論じさらに，取引が交され裏国会と囁かれる有名店であり，その雰囲気を満喫できたのも後学に役するところが多かった。

第29回総会は，梅田の司会進行により開会，三浦幹事長挨拶の後，議長には木田京平君を選出した。庶務報告は石川幹事，会計報告は牧野幹事両者とも明解にして要を得，流れるような説明を行ったので全員拍手のうちに質疑もなく全て了承。議事は，任期満了による幹事長，監査役の選挙である。提案理由の説明も終らぬうちに再任の声しきり，木田議長の手慣れた見事な議事さばきにより万場一致留任が決定し，三浦幹事長が再任の抱負を語った。協議は，卒業30周年を明後年（S57年）に控え，しかるべき記念事業を企画したいと赤池幹事が提案したところ全てを幹事会に一任することとなった。一つの節に相応しい記念事業を幹事会は今から企画せねばなるまい。次いで，昨年村上圓君による総会後の講演に帰依して結成されようとしている「千秋心の会」が五味君を中心に旗上げする旨の報告があった。奇蹟の霊視，幸運の波動を受けんとする者は来れ！と声を大にして叫んでいた。また，次期総会開催地については昨年一任のうちに内定した紀南の真砂圭佑君から持参したパンフレットを配付して懇切な案内を行った。全員紺碧の海と清澄な自然の緑に思いを馳せ来年の総会に期待を寄せていた。閉会は拍手のうちに岡野幹事が締括った。

講演会は，慈恵医大田辺晴康口腔外科教授によりスライドを駆使して行なわれ，目覚しい口腔外科とくにオルソドンテイクサージェリーの進歩とその成果に驚異の目を見はらされた。

懇親会は，おなじみの五味幹事により取り仕切られ，懐しい顔，名前と姿が一致しない顔，様々な顔と顔がふれあって青春を取り戻す好機と深更まで談笑が続いた。

（出席者順不同）　上岡幸八，高橋泰雄，牧野久子，真砂圭佑，杉田二三男，山本昭二，木田京平，佐々木秀二，矢島幸子，新井田俊典，瀧沢稔，柴田一美，赤池汎夫，湯口聰，佐藤正一，伊藤浩，佐藤公，佐々木寿，北村和夫，柳川昭，山本宏，田村節子，中島善和，浜田康彦，後藤清，南保忍，南保順子，大越好一，五味芳保，石川欣彌，渡辺一雄，古賀雄二，岡野徳一郎，岡本高明，永井淳夫，梅田昭夫，三浦美儀。　（梅田　記）

六　喜　会

昭和33年卒

昭和55年10月10日，山形県は上の山温泉に各地より参集，天皇陛下がお泊りになったことのある〝村尾旅館〟に第一夜を迎え，55年度総会を地元幹事五十嵐君の司会，大橋君の座長で会計報告をはじめ協議し，記念撮影後懇親会に入る。今回，夫婦同伴で参加された清水の河村君，横須賀の田沢君，東京の原君，宮原の4人のご夫人の紹介がなごやかな中で行われ単身参加者をうらやましがらせた。

翌11日，観光組は城下町米沢を訪ね笹野観音，上杉神社等を参拝，一刀彫実演見学，お土産を買い求めながら昼食に米沢牛のステーキに舌づつみを打ちデザートに赤湯のぶどう園にてぶどう狩りを満喫，第二夜の宿である天童温泉〝滝の湯ホテル〟に入る。一方，ゴルフ組は〝蔵王カントリー〟にて地元幹事大沼君ご夫妻，岩手の黒田君，田沢，原両君，秋田小川君の6名で競い黒田君が優勝された。

第二夜は地元民謡演芸に続き北海道星野君の名司会で余興に入り前記ご夫妻組のデュエットを皮切りに郡山渡辺君，横浜相庭君，茅ヶ崎吉田君，地元幹事等熱演の披露があり和気あいあいのうちに宴を閉じた。

翌12日の最終日は月山のふもと〝間沢〟の〝出羽屋〟にて10数品目に及ぶ山菜料理を〝またたび酒〟など美味あふれる酒を友に出羽屋主人の名調子の説明を聞きながら満腹感にひたった。

地元幹事の五十嵐，大沼，菅原三君には設営にあたりこれまでにない25名という少数の参加数で並々ならぬご苦労をおかけしお土産までのご配慮いただき誠にありがとうございました。紙面を借りお礼申しあげます。

なお，来年は母校の稲毛新校舎移転の年に当ることでもあり，8年ぶりに東京で開催いたします。また，57年度は北海道を予定しております。

当日参加者（順不同）

五十嵐，大沼，菅原，渡辺(琢)，山内，塚本，吉田，相庭，中村，本田，中島，星野，黒田，小川，鈴木，大橋，佐々木，今泉，大和田(美)，奥富，松沢稔。以上単身参加

河村夫妻，原夫妻，田沢夫妻，宮原夫妻，以上会員25名，ご夫人4名，総計29名でした。

（宮原　記）

八　紫　会

昭和35年卒

稲毛校舎にベンチを贈る

卒業二十周年記念式典盛会裡に挙行

去る９月27日（土）帝国ホテルに於て，八紫会卒業20周年記念行事が挙行された。出席者は全会員３分の２にあたる94名。第１部として午後４時30分から７時まで学術セミナーが開かれた。「歯科補綴20年の歩みと将来の展望」と題し，講師は同期生だけで，神歯大の青木教授，東北歯大の潤田教授，東歯大の腰原助教授，司会もやはり大学に永く籍を置いた宮下恒太，森川仁両君にお願いした。縫成冠，タービン無しの時代から現代歯科医療の変遷をしみじみ体験した者同士だけに，三講師共々自分達の積日の研修を振返り，全員感無量という表情で熱心に聴講した。７時から第２部の式典に移り，来賓の入場をお迎えし総会を持った。開会，会長挨拶庶務会計報告に続き，大学への記念品の贈呈が大学代表の高木副学長に目録を手渡された。贈呈品は長さ180センチのミカゲ石のベンチ三台で，私共が昭和31年に市川の予科に寄贈した石のベンチにちなんだもので，副学長からはていちようなお礼の言葉と共に，造園専門家の意見を聞いて稲毛校舎に一番マッチした場所に設置するとの御挨拶を得た。９名の来賓の御紹介があり河邊同窓会長，高木副学長の御祝辞を戴き，松宮学長，井上名誉会長からの祝電披露があった。最後に次年度開催地千葉県から稲毛新校舎見学をメインとしたクラス会案内がされ閉会した。

つづいて来賓の恩師を囲んで記念撮影を行い，ただちに懇親会場へ席を移した。美人バンケットが迎える立食会場も，当初予定人員をオーバーしお客様を含めて100名を超す人数に，まさに立すいの余地もないといった光景で，背すり合せながらの懇親になった。

菊地会長挨拶，飯田九州地方幹事の乾杯の音頭，来賓スピーチとエレクトーンの演奏をまぢえたパーティーも恩師を囲み，アッ!!という間の２時間であった。全員で校歌を混声大合唱，大門東京地方幹事の手〆で散会となった。当日記念品として八紫会20周年名入りのシャーボが渡された。欠席の方は大学腰原幹事迄御請求下さい。

なお当日の出席者名は省略しますが，女性９名男性85名。来賓河邊，高木，金竹，高橋，田村，中久喜，平井，嶺脇，山本の９恩師。

（文責　桜井善忠）

久　喜　会

昭和36年卒

卒後１９年目，昭和55年度総会は進学課程の秋山，中山両先生を，お迎えして10月25日，一泊二日の日程で，純和風数寄屋造りの静かな熱海温泉，山木旅館で開催された。

総会は代表幹事岡英男君の挨拶の後，浜野文夫君を座長に選出し，会計，庶務，福祉，広報の各

担当幹事から報告が行われ，次いで54年度会計決算，56年度事業計画案，56年度歳入歳出予算案の説明がなされ，承認された。続いて今春施行された参議院選挙に高位当選を果たされた，関口けいぞう先生の地元，埼玉県の板倉克明君から，協力に感謝する挨拶があった。

懇親会では，秋山，中山両教授をかこんで，つきぬ思い出話に花が咲き，楽しい一夜であった。尚当日朝から西熱海ＧＣで行われたゴルフ大会では長沢宥君が優勝した。おめでとう……。詳細については久喜会々報でお知らせ致します。

出席者：千葉英輔，糖信明宏，川又正義，亀谷博昭，三沢栄治，丸山晴義，遠藤隆一，田中耕誠，秋川汎史，賀久永仁，西辻良三，依田雄弘，尾上嶂，柳沢勇喜夫，増田勝之，山内恒徳，岡英男，阿南章三，野村栄一，本間正敏，浜野文夫，浜野恭子，木津健夫，長沢宥，日浅敬三，森正文，中村正，簗瀬六朗，中山孝幸，板倉克明，松島静吾，福田弘一，石井康之，籾山正尚，桑名泰彦，大野博重。（敬称略順不同）36名。（大野　記）

福　祉　会

昭和44年卒

本年の総会は９月14日（日）晴天の古都京都のグランドホテルに於いて服部玄門先生はじめ参加者総数79名と言う多数を迎え開催されました。当日関西地方は快晴に恵まれ早朝から市内観光組とゴルフコンペ組の２班に分れ行動開始。ゴルフコンペは瀬田ゴルフコースと言うすばらしいコースで一日中ラウンドの結果今井君が優勝第２位鈴木(雅)君第３位原君，ベストグロスは鈴木(雅)君の83と言う結果でした。市内観光組はお目あての金閣寺が工事のため工事用の布がおおいかぶさって見物出来ずこれが本当のキンカクシだと言うシャレまでとび出す始末でした。

夕刻からは総会に入り今後の福祉会のあり方について活発に意見が出され各ブロック毎にブロック委員を置いて会費を集める件，来年度の総会は新潟県，その次は九州で開催する事などが決定されました。又総会後に余剰金が出た場合はこれをプールし15回，20回等の記念総会で使用する事も決定しました。

久し振りに級友に会い深夜遅くまで歯科医業一般について話し合っている声が各部屋から聞かれ大変有意義でした。卒業後10年色々な事を多く経験された事と思いますがここでもう１度あの学生時代の打算のない心底から歯科医療にとり組んだ原点に帰ってみてはいかがでしょうか。クラス会を開催する目的がこの「原点にかえる」ためであると言っても過言ではありますまい。今回参加されなかった級友諸君もどうかこの写真，このクラス会便りを目にしてもう１度あの嵩高だった学生時代に帰っていただきたい。そして来年度の総会には是非１人でも多くの参加を望みたいと思います。最後に今回の幹事をお引き受け下さった多田，井口，久松，塩見，広谷の諸兄には心からお礼申し上げます。（前島　記）

すいどうばし

会員寄稿欄

フッ素の安全性の考え方について

清　水　　潮（昭和36年卒）

最近，う蝕予防の公衆衛生的レベルでの有効な手段であるフッ素利用について，特にその安全性に対して，少なからぬ混乱がある様に思われる。医薬品の副作用の告発，公害問題，各種の食品添加物，洗剤やプラスチックの日用品等，コマーシャリズムに満ちたマスコミの時には一方的な取り扱いなどによって混乱が拡大されているのが現状であろう。新潟県におけるフッ素利用によるう蝕予防運動に多少とも関係して，この問題について今迄に学んだことをまとめてみたい。

第一に量の問題がある。物質の生物への影響において，物質の量的な差が全く異質の影響を生物に示すことである。『少量にして薬，大量にして毒』とは，昔から広く知れわたっている常識である。

第二に原因と結果についての考え方の不合理も混乱の一助をなしている。ひとつの原因は多数の結果を生み，ひとつの結果はほとんど無数の原因系によって生ずる。この認識のもとに原因と結果との関係を考えるとき，統計学的，疫学的思考法の重要性が浮んでくる。フッ素によるう蝕予防効果と安全性に関しても，同じく基礎研究や動物実験のデータの統計的解析はもちろん，人間集団での疫学的研究の重要さは論を俟たない事である。ある事象についての原因と結果の論議がなされるとき，そこにもたらされる情報の科学的処理の正当性のいかんに注目することが大切であろう。

第三に利益と反利益についての考え方である。物事の決定に際しては利益と反利益との相互比較によってなされているという認識である。フッ素においても，絶対安全であるとはいえないとか，疑わしきは使用せずという意見がある。一例をあげれば，フッ素反対の某歯大医局員との討論で癌に対してフッ素が絶対に無関係であることを証明せよという発言がなされた。絶対安全という言葉自体，科学的には意味をもたない。絶対という概念は自然科学やことに生物学，医学の世界には存在しないからである。したがって安全性の証明は統計学的，疫学的な科学的思考によりもたらされるが，それは本質的には確率の問題であって，危険であるとはいえないとする証明の積み重ねに過ぎないのである。う蝕予防にフッ素を利用するか否かの決定には，充分な科学的データを基に，想定し得る利益と反利益の相互比較による広い基盤に立っての考察が重要なのであろう。

おわりにフッ素利用による公衆衛生レベルの予防法が，従来からおこなわれてきた個人的レベルの予防法とくるまの両輪となり，また公衆衛生的特性から地域医療を支える医療技術のなかの重要な位置づけが得られることを切に願うものである。

参考……新潟県歯科医師会　フッ素と健康（その疑問に答えて）

へんしゅうこうき

◆原稿応募規定

原稿締切りは奇数月の10日で，原則として翌月発行の会報に掲載いたします。

投稿は原稿用紙に**横書き**でお願いします。便箋などのご使用はご遠慮下さい。尚この会報専用の原稿用紙（22字×10行）も準備してありますから，必要な時に請求して戴けば，お送りします。

随想，詩，短歌，時評など，寄稿は**1編1,500字以内**ぐらい，クラス会だよりは**700～800字**程度でお願いします。よろず告知板も，ご遠慮なく御利用下さい。

折角ご寄稿戴いても，規定字数を超える場合は，掲載いたしかねることがありますのでご諒承下さい。

「私のアルバム」の材料などは，ほとんどの皆様がお持ちと思います。簡単な文章をつけて是非ご提供下さい。また古い想い出の写真など，お貸し願って誌上で昔のよしみを温めたいと存じます。

原稿及び写真は原則としてご返却いたしませんが，特に貴重な写真などの場合はその旨お書き添え下さればご返送申しあげます。

◆へんしゅうこうき

○ 1980年も最後の同窓会報となりました。本年は表紙も大変カラフルになり目立つ刺戟的な色もあったと思いますが。わが歯科界も大変カラフルというか変化に富んだ一年だったと思います。前半は六月選挙で明け暮れ，それでも吾が母校にとっては最良の成果となり，井上・関口両参議院議員に浅井代議士と有能な人材を送り誠に心強いかぎりです。しかし後半は一転してマスコミにおどらされた医療界に厳しい数々の問題が起り，同窓各位も何か暗い年の瀬を過された事と思います。

○ 同窓会も河邊会長以下新執行部が船出をし，色々の面でユニークなところを見せており，井上前会長時代からの引継ぎの千葉校舎募金も順調に会員各位の御協力を得て目標額に今一歩だそうです。

○ 1981年は酉年，吾が母校も高らかに歯科界に新らしい時を告げる千葉校舎開校の年となります。欧米歯科大学との姉妹校提携を更に強化し，歯科臨床に総合講座制を取り入れ，まさにやはり日本の歯科界をリードするに足る雄姿といえましょう。

○ 編集委員一同，新しい年に向け心を新たにして，読み良い正確で楽しい？同窓会報を目指して頑張りますので，来年度も御投稿の方も宜敷く御願い申し上げます。　（桜井 記）

広報担当理事：中村泰之，溝上隆男，松川健二，伊藤　哲，白崎源有，林　幹雄，馬嶋　博，野上順平
広報部委員：中久喜喬，梅田昭夫，倉橋和啓，山本啓介，櫻井善忠，薬師寺仁，松井恭平，林　量一

昭和55年12月15日　印刷
昭和55年12月20日　発行
東京歯科大学同窓会会報　第198号
編集・発行人　中村泰之
東京歯科大学同窓会
〒101 東京都千代田区三崎町2－9－18
電話（03）262—3421（内線 226）
（03）264—4859（直通）
印刷所　一世印刷株式会社
東京都新宿区下落合2－6－22
電話（03）952—5651（代）

高輪と品川、ふたつのプリンスホテル

両プリンスホテルは、東京歯科大学同窓会の皆さまに特別サービスをご用意して、ご利用をお待ちしています。

由緒ある日本庭園を配して緑の中に静まる高輪プリンスホテル。500の客室、10をこえる各種レストラン、バー。 つねにプリンスホテルならではの、まごころをこめたおもてなしで内外のお客さまをお迎えし、真のくつろぎを提供いたしております。

都内でも有数の設備を誇るスポーツランドをはじめとして、のびのびと楽しめる新しいタイプのホテル、品川プリンスホテル。ビジネスでのご利用はもちろん、ご旅行にもご家族でのレジャーにも幅広く、気軽にご利用いただきたいホテルです。

●ご宿泊●

特別割引料金にてご利用いただけます。
ご予約は、会員専用の予約直通電話をご利用ください。

高輪プリンスホテル (03)445-1855　品川プリンスホテル (03)449-3581

★上記専用電話以外のご予約につきましては、特別料金によるご宿泊は、できませんのでご了承ください。

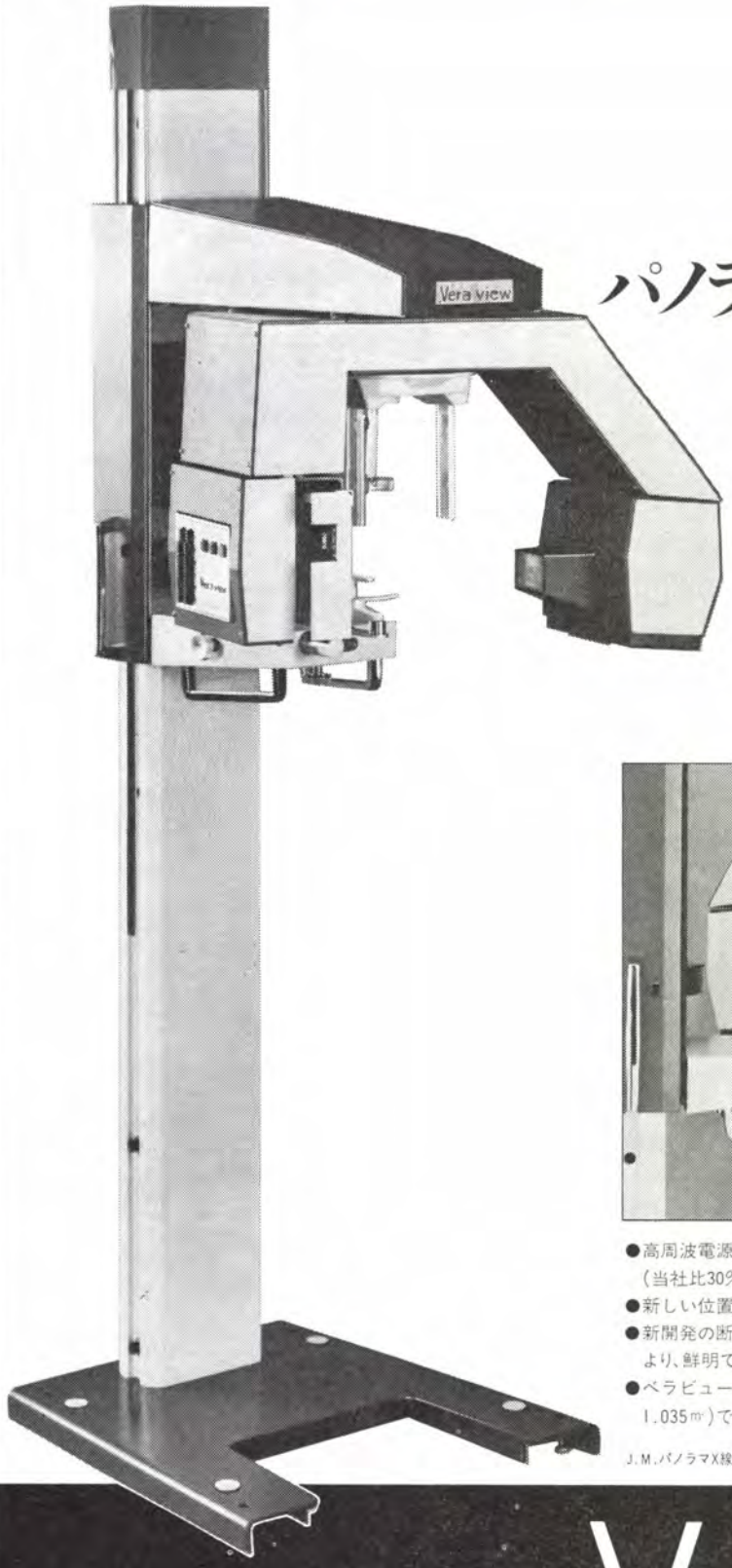
●ご婚礼●

同窓会の皆さまと皆さまからご紹介いただいたご婚礼に対して、
各種のサービスがございます。
サービス適用ホテルは、高輪プリンスホテル・品川プリンスホテル・麻布プリンスホテル・白金プリンス迎賓館です。

★ご予約の際は必ず東京歯科大学とお申出ください。

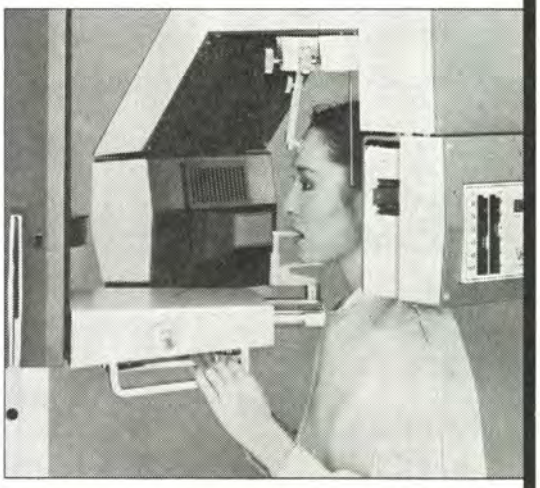
高輪プリンスホテル
東京都港区高輪3-13-1 〒108 TEL.(03)447-1111

品川プリンスホテル
東京都港区高輪4-10-30 〒108 TEL.(03)440-1111



パノラマを越えた…

パノラマX線装置ベラビュー



- 高周波電源の直流方式の採用で、患者の被曝X線量が少く（当社比30%減）鮮明なX線写真が撮れます。
- 新しい位置づけ機構により患者の位置づけが容易です。
- 新開発の断層軌道機構と直流方式・鋭焦点X線管の採用により、鮮明で良質の画像が得られます。
- ベラビューの据付面積は最少スペース（1.045×0.99 m = 1.035㎡）で、しかも重量は190kgと軽量です。

J.M.パノラマX線装置 ベラビュー 標準価格¥2,600,000 昭和54年11月20日現在

歯科用パノラマ直流方式X線装置

Veraview

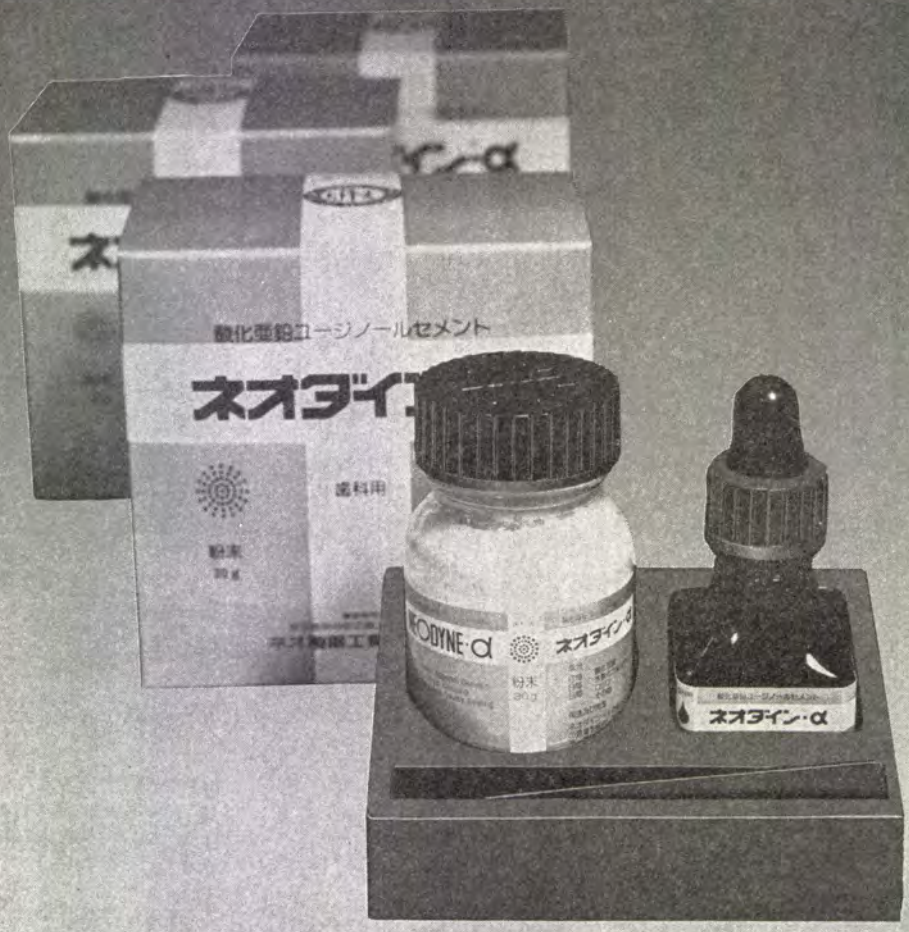
株式会社モリタ ・株式会社モリタ製作所 ・株式会社モリタ東京製作所

新発売

酸化亜鉛ユージノールセメント

ネオダイン®-α

大きく飛躍して新登場!!



ネオ製薬工業株式会社
東京・長野

「快適診療の哲学」の追求が生んだユニオートX

歯科機械へのたゆまぬ追求が新しい個性を生み出します。つねに歯科器材界に君臨し、リードしてきた最高級デンタルユニット〈ユニオート〉。虚飾を排したスタイリングはユニオートの伝統。それをさらに研ぎ澄ました、新しい時代のスタイリングと理想的な機構と機能。この相反する2つの性格を見事に両立。これこそ、オサダの技術と芸術の新しい結晶です。「快適診療の哲学」の追求が生んだ、真の歯科医療機器〈ユニオートX〉。

ユニオートX5100型
標準価格 ¥3,440,000

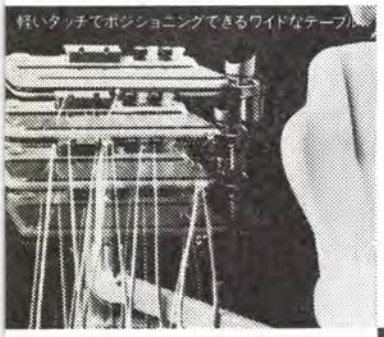
オサダの歯科機械
長田電機工業株式会社
東京都品川区西五反田5-17-5☎03(492)7651(代)

第3集「歯科医院のレイアウト」発行!

歯科医院の開業・増設にあたって基本的な設計の考え方から始まって、各部の重要なポイント、規制などを、設計図、写真をもとに解説。又別冊で開院にあたっての細かい材料、機器等のチェックリストも総て網羅してあります。この一冊があれば、開院・増設の準備は万全です。
体裁＝A4判／100頁、内巻頭カラー32頁、定価5,000円
※ご入用の方はオサダ全国営業所・代行店、又は本社に直接お申し込みください。

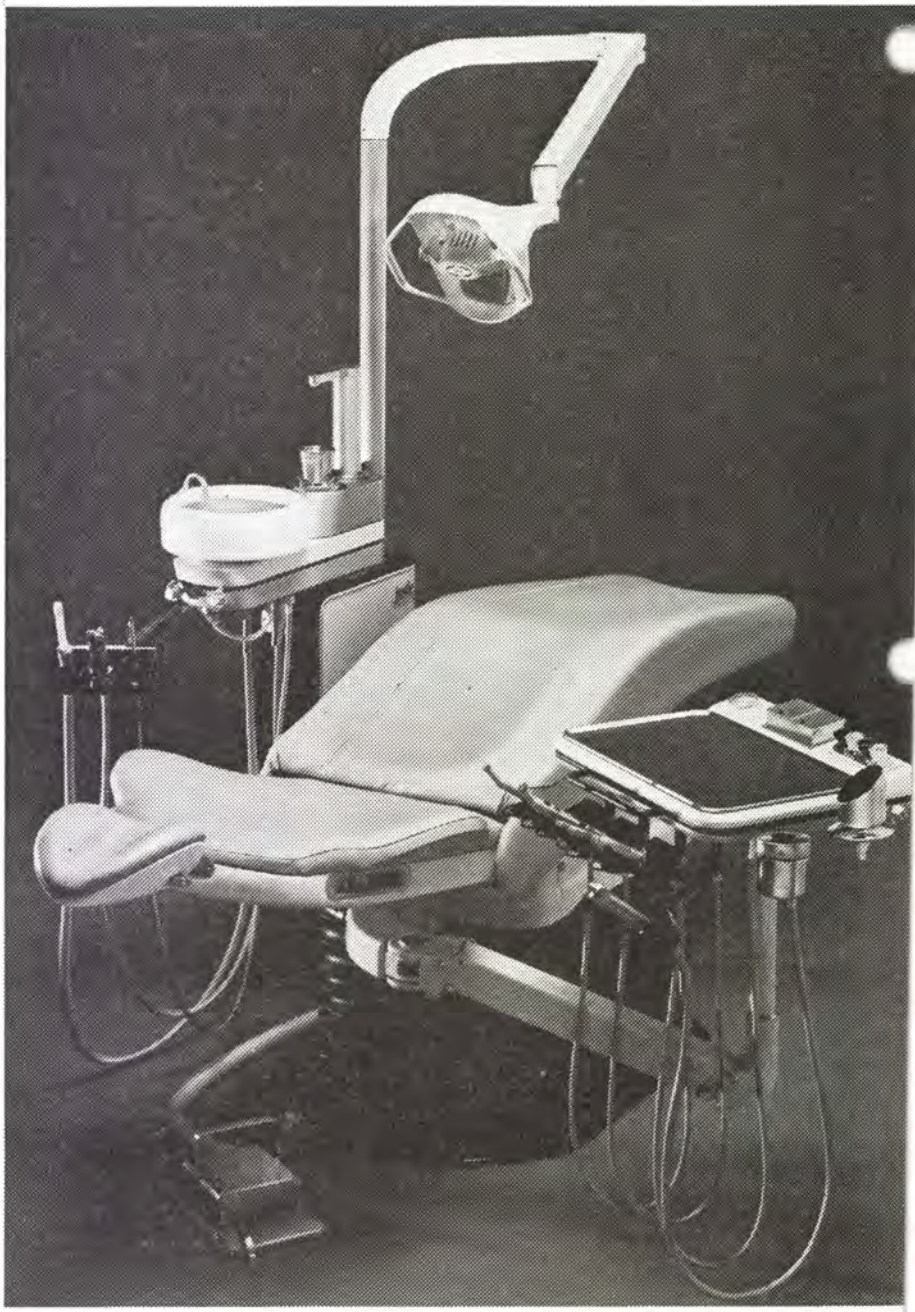
歯科医療の総合商社
YOSHIDA

未来を先取りした
シンプル&ハイアビリティ



ジャスティック
justic

「シンプル&ハイアビリティ」ジャスティックでは、ムダなデコレーションを一切廃しました。人間の自然なフォルムから考え出された、シンプルなオールマイティチェアー。診療空間をよりスッキリさせた、ワーキングテーブルのアンダーアーム。どの機構にも、理想的な診療形態を創造するためのシンプル化がなされています。
そして、何よりも患者への圧迫感や恐怖心を和らげました。たとえば、アンダーアームひとつとってみても、ドクターに診療しやすいポジションを与えるだけではなく、ワーキングテーブルを患者の視界から外すことにより、心理的圧迫感を与えません。といっても、私たちは"シンプル・イズ・ザ・ベスト"だとは考えていません。ムダな部分を省くと同時に、より効果的診療を可能にする数多くのディテールをグレードアップ。「シンプル&ハイアビリティ」こそまさに、ジャスティックの一貫した思想です。



株式会社ヨシダ
〒110 東京都台東区上野7-6-9
TEL.03-845-2911(代)

資料請求券

金属焼付ポーセレン用金合金

KIK HARD II

- ●硬度が210Hvと硬く、長いブリッジ・うすいクラウン等にも最適です。
- ●流動性が優れており容易に鋳造できます。
- ●焼成回数を重ねてもメタルの変形はほとんどありません。

主成分　金73%・銀2.8%・白金13%・パラジウム9.7%

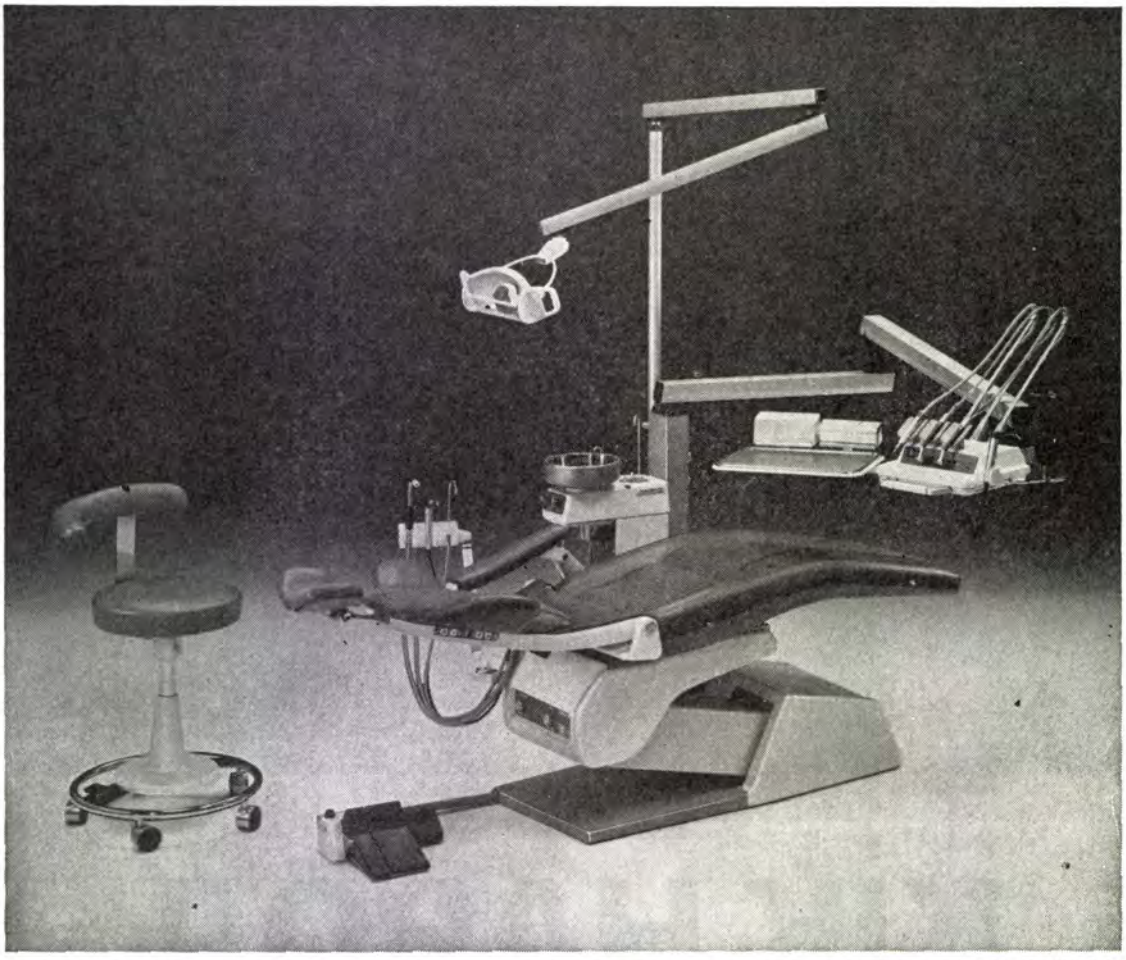
諸性質　●溶融温度1240～1290℃　●比重17.8　●鋳造収縮1.34

	硬度Hv	引張強さkg/mm	伸び%
鋳造時	180	44	5
グレーズ時	210	46	5
硬化時	225	48	4

KIKポーセレンの他VITA・CERAMCO等のポーセレンに使用できます。

石福金属興業株式会社

テイコク&ビアン・エアー共同開発 ——— SUMMIT 80



標準販売価格　¥2,780,000　注　オペレーティングスツールはサミット80には含まれません。　オペレーティングスツールポニー標準販売価格　¥78,000

80年代の歯科医療のニーズに応えて

総てをミクロに追求したテイコク&ビアン・エアー共同開発

80年代に賭ける新製品開発に当り、両社共同研究の技術を結集し、新時代の歯科医療が求めるユニットをミクロに追求し、ここにエアーシステムチェアーユニット(サミット80)が完成いたしました。このユニットはチェアーマウントユニットを根本から考え直し、チェアーとユニットは完全に一体化され、機能本意にコンパクトに完成され、またオリジナルとしてのアイデアが随所に生かされ、使い易さ、耐久性、無故障を目標に練りに練って製作されており、自信をもってお奨めいたします。

TEIKOKU DENTAL
本社・ショールーム●東京都台東区台東3-41-4加藤ビル　☎03-833-4591(代)
営業　本部●東京都台東区台東3-41-4加藤ビル　☎03-834-0661(代)

GC

ナノメートル

nmフィラーの

（ナノメートル：メートルの10^{-9}ミクロンの1000分の1を表わす）

ミクロレスト新発売

超微粒子フィラーの威力は、充塡面のなめらかさに歴然です。

従来、一般に先生方がお使いのコンポジットレジンは、約30ミクロン程度のガラスフィラーを使っています。ミクロレストのシリカフィラーは、なんとその1000分の1。0.02～0.03ミクロンという超微粒子です。従って、その差は歴然。重合面が違う、研磨面が違う、磨耗面が違う——すべてに緻密で均質なミクロレストの優位性が現われるのです。その他、吸水性の極めて少ない特殊な疎水性モノマー、辺縁封鎖性抜群のボンディングシステム等、特長様々。これらはプラークの付きにくい滑沢な表面と相まって、美しさをいつまでも失わない、優れた充塡を約束します。いかがですか——今日からミクロレスト。

近日発売

超微粒子フィラー修復材 ●ジャータイプ

ミクロレスト《ミクロジャー》

超微粒子フィラー修復材●シリンジタイプ

ミクロレスト《ミクロシリンジ》

而至歯科工業株式会社 G-C DIC（デンタルインフォメーションセンター）

〒113 東京都文京区本郷3-2-14 Tel.03(815)1511 ●東京DIC 03(816)6480(直)

お問い合わせ先 ●北海道DIC 011(271)7373(代) ●東北DIC 0222(71)8757(代) ●名古屋DIC 052(703)3231(代) ●大阪DIC 06(771)4682(代) ●広島DIC 0822(55)1771(代) ●九州DIC 092(441)1286(代) ●新潟出張所 0252(84)6622 ●徳島出張所 0886(25)8244 ●長崎出張所 0958(47)6104 ●鹿児島出張所 0992(68)0070

昭和56年度学生募集要項

歯科技工学科

◉受験資格　高校卒　男女50名
◉修業年限　2ヶ年　昼間授業
◉願書受付　昭和55年12月1日(月)より
昭和56年1月23日(金)まで
◉試験期日　昭和56年1月25日(日) 筆記・実技
1月27日(火)か28日(水)のいずれか
1日　面接・健康診断
◉入試科目　英語(A)・数学(I・IIA)・国語(現代国語・古典1甲)・実技

歯科技工専修科

◉出願資格　歯科技工士又は歯科技工士養成所卒業の者。若干名
◉入試期日　昭和56年2月下旬

入学案内　〒共1,000円（現金書留又は郵便小為替）

顧問　東京歯科大学学長　松宮誠一

東京歯科技工専門学校
TOKYO DENTAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

〒141 東京都品川区西五反田5-1-10(東急目蒲線不動前下車2分) TEL 03(東京)-492-4221代

歯科鋳造用銀合金(銀・インジウム系)
クラウン・インレー・ブリッジ・
レジン前装冠・継続歯用　ニュータイプ

サリバン
パラエイト　タフネス

●口腔内での耐変色性が非常に優れています。
●縁端強度が充分あります。
●適合性が抜群です。
●鋳造性が良く、鋳肌も良好です。
●生体組織に対する親和性が抜群に優れております。

日本歯研工業株式会社

本　社：〒141 東京都品川区西五反田5-1-10 ☎03(492)0927(代)
支　社：〒553 大阪市福島区海老江1-5-67 ☎06(458)7071(代)
上野営業所：〒101 東京都千代田区外神田6-10-6
吉岡歯材ビル2F　☎03(831)7031・7033